

長野県宝の指定について

文化財・生涯学習課

文化財保護条例（昭和 50 年長野県条例第 44 号）第 4 条第 1 項の規定により、下記のとおり長野県宝に指定する。

記

○長野県宝に指定する文化財（3 件）

| 名 称 | 員数 | 所在 市町村 | 所有者名称 | 指定理由 | 答申結果 |
|-------------------------------|-----|-------------|-------------|---|---------------------------------|
| もくぞうふどうみょうおうりゅうぞう 木造不動明王立像 | 1 軀 | 長野市 | 宗教法人 不動寺 | ○制作年代が鎌倉前期にさかのぼる、県下では古例の不動明王立像である。 ○ほぼ等身大の、初期慶派の影響をうけた写実味とともに、穏やかな動勢や彫口の古格をもしめす、作行きすぐれた名像である。 ○絵仏師定智が描いたとされる石山寺「不動明王二童子図」に一致し、彫像としては同図像の稀有の作例である。 | 長野県宝に指定することが適当 (H31.1.31 諮問) |
| てつぞうあみだによらいりゅうぞう 鉄造阿弥陀如来立像 | 1 軀 | 東筑摩郡 筑北村 | 八木常会 | ○鉄仏で銘記のある、骨蔵器としての善光寺式阿弥陀如来像中尊として全国的にも珍しい作例である。 ○本像と同一原形と指摘されている阿弥陀如来立像の中で、建治元年（1275）の年紀と願主銘等があるのは本像のみであり、美術史的、文化的に資料的価値が高い。 | 長野県宝に指定することが適当 (H31.1.31 諮問) |

| | | | | | |
|-----------------------------------|--------------|------------|------------|---|---------------------------------------|
| <p>えりあないせきしゆつどひん エリ穴遺跡出土品</p> | <p>485 点</p> | <p>松本市</p> | <p>松本市</p> | <p>○縄文時代後期後葉から晩期中葉にかけて遺跡が著しく減少する甲信地域にあって、質量ともに抜きん出た遺物群である。</p> <p>○特に土製耳飾は、全国最多の2,643点を数え、形態や装飾の変遷が追える類を見ない資料である。</p> <p>○土偶・土器等からは、集落が他地域との交流によって成り立っていたことが分かるなど、甲信地域の縄文社会を解明するうえで学術上重要な資料である。</p> | <p>長野県宝に指定することが適当 (R1.9.9 諮問)</p> |
|-----------------------------------|--------------|------------|------------|---|---------------------------------------|

元文審第2号
令和2年(2020年)2月4日

長野県教育委員会 様

長野県文化財保護審議会
会長 佐々木 邦博



長野県宝の指定について(答申)

平成31年1月31日付け30教文第610号及び令和元年9月9日付け元教文第240号で諮問されたこのことについて、下記のとおり長野県宝に指定することが適当である旨答申します。

記

長野県宝に指定する文化財

| 名称 | 員数 | 所在地 | 所有者の氏名又は名称 |
|-----------|-------|---------|------------|
| 木造不動明王立像 | 1 軀 | 長野市 | 宗教法人 不動寺 |
| 鉄造阿弥陀如来立像 | 1 軀 | 東筑摩郡筑北村 | 八木常会 |
| エリ穴遺跡出土品 | 485 点 | 松本市 | 松本市 |

長野県宝候補物件調査票

- | | |
|-----------|------------------------------|
| 1、種別 | 県宝（彫刻） |
| 2、名称 | 木造不動明王立像 |
| 3、員数 | 1 軀 |
| 4、所在地 | 長野県長野市青木島町大塚 1 3 3 |
| 5、所有者及び名称 | 宗教法人 不動寺 |
| 代表責任者氏名 | 狩野善典 住職 |
| 6、現状 | 木造（割矧造）古色 1 軀、像高 152.0 cm |
| 指定状況 | 長野市有形文化財指定（平成 13 年 8 月 15 日） |
| 7、概況と特色 | |

（1）伝来と由緒

不動寺は川中島古戦場址の北東 1.5km の青木島大塚にある真言宗豊山派寺院であり、本像はその本堂須弥壇上に本尊として安置される。寺伝では、当寺は赤松円心の子孫とされる真言僧・祐尊によって文亀元年（1501）に開創され、その折に、本像は祐尊が修行した高野山龍光院より勧請されたという（寛永 2 年、町田左近義繁による「由緒書」写）。犀川と千曲川に挟まれた扇状地内の微高地・青木島は交通の要衝地で（のちに北国街道、善光寺街道（北国西街道）、松代道が通る）、弘治元年（1555）の第 2 次川中島合戦の際に武田信玄が本陣を置いた町田氏の大堀館跡は、不動寺の北西 200m にある（現在は長野市立更北中学校地）。戦乱や洪水の多かった地域のため、創建・沿革を詳らかにする史料に乏しいが、『江戸幕府寺院本末帳集成』水戸彰考館本（天明～寛政／1781～1801 年頃に成立）には、松代・福德寺（新義真言宗）の末寺として「大塚村不動寺」の名が見え、不動明王を本尊とする寺として当地にあったことがわかる。

（2）種類、形状、品質構造、制作年代、作者系統

本像は、巻髪で頭頂に莎髻、正面と左右に小花冠、額に水波文をあらわし、左目を眇め、牙を右上出・左下出して閉口する。裳（折返し付）・条帛・腰布（上辺折返し）を着け、左手に羂索、右手に三鈷剣を執る不動明王立像である。その図像は 9 世紀末以降に天台僧・安然（841－915）の著「不動明王立印儀軌修行次第胎藏行法」に説かれる「不動十九観」の観想にもとづくもので、「安然様」ないし「玄朝様」とも称される。とりわけ本像の左手を屈臂して右手より高い位置（左胸脇）で羂索を執り、右肩前に条帛の先端をあらわす点はめずらしく、その形姿は「石山寺校倉聖教」中の「玄朝様をもって帥上座（絵仏師定智）が描いた」旨が記される「不動明王二童子図」の中尊に共通する。条帛先端を右肩におく例は滋賀・金剛輪寺不動明王立像（国重文、建暦元年／1211、衣端は不明瞭）や福島・勝福寺同像（県指定、弘安 2 年／1279）等にみられるが、本像のように両手の構えまで近似する作例は、彫像では極めて稀である

頭体幹部は檜とみられる針葉樹の縦一材を、左目を通る線で左右に割矧ぎ、三道下で割首を施し、脚部膝以下を割り離す。これに後頭部（左右二材）、背面、右腰脇（前後二材、後材は上下二材）の各別材を寄せて内割りを施す（両脚を除く）。両手は各肩と肘で矧ぎ、内割りを施さない。弁髪、両足先、木眼は別材で後補（当初は玉眼か）。また後頭部材下半、左耳垂部、左第1・第5指先、右第4・第5指先、持物、光背、台座も後補で、裳裾左側先端欠失を新補とする（平成12年度修理）。現状古色だが当初は彩色像である。背板、後頭部、腰脇に別材を寄せた寄木造とみなし得るが、頭体幹部材の大部を一木割矧とする点からは「割矧造」で、何らかの霊木を用いたとも考えられる。

衣文や巻髪に柔らかさと自然な変化をあらわす写実味があり、頭部の側面観の共通性からも初期慶派の影響下にある作例といえるが、随所に控えめな浅い彫口もみられ、穏やかな動勢をあらわすことから、鎌倉時代前期13世紀前半における傍系仏師の作と考えられる。体躯に比してやや小ぶりの頭部や手足、肉付きを誇張しすぎない均整のとれた形姿に、洗練された感覚が認められ、その作行きから畿内周辺での制作もありうるであろう。

（3）評価

県下には不動明王像彫刻の指定例が国重文2件、県宝1件、市指定18件（本像を含む）、町指定2件、村指定5件現存するが、本像は国重文・福満寺像、牛伏寺像（ともに平安後期）に次ぎ、県宝・仏法紹隆寺像に相近い鎌倉前期に遡る古例である。またほぼ等身大の、堂々とした体躯をもち、巻髪、面貌、衣文には一定に初期慶派の影響を受けた鎌倉彫刻らしい写実味を示しながらも、未だ型にはまらず、悠然とした古格を失わない、県内屈指のすぐれた作行きを示す不動明王の名像である。本像の図像は「石山寺校倉聖教」中にある、玄朝様をもって帥上座（絵仏師定智）が描いた旨が記される「不動明王二童子図」中尊の図像に共通し、彫像としては同図像の稀有の作例である点で、学術的に貴重である。保存状態も比較的良好であり（平成12年度解体修理）、戦火・水難の多かった青木島地域にあって奇跡的に護り伝えられた歴史、町田氏との関係、畿内文化とのつながり等を考えるうえでも重要な資料であり、県宝にふさわしい作例である。

8、指定理由および根拠

（1）指定基準 長野県宝等の指定等に関する基準

第1 長野県宝の指定基準

- （1）絵画及び彫刻 ア 各時代の遺品のうち、製作優秀なもの
- イ 歴史上特に意義のある資料となるもの

（2）指定理由

- ① 制作年代が鎌倉前期にさかのぼる、県下では古例の不動明王立像である。
- ② ほぼ等身大の、初期慶派の影響をうけた写実味とともに、穏やかな動勢や彫口の

古格をもしめす、作域すぐれた名像である。

- ③ その図像が、「玄朝様」をもって絵仏師定智が描いた図様とされる石山寺「不動明王二童子図」に一致し、彫像としては同図像の稀有の作例である。

9、保存の要件

平成 12 年に解体修理を終えている本像の保存状態は良好であるが、安置場所が木造の簡素な小堂であるため、防火防災上の問題が多い。本尊としての宗教的機能を損なわずにいつそう確実な保存的措置が早急に講じられることがのぞましい。

【参考文献】

- ① 明古堂（明珍昭二）「木造不動明王立像 修理報告書」不動寺 平成 12 年 3 月
- ② 『新編信濃史料叢書 第 14 巻』信濃史料刊行会編 昭和 51 年
- ③ 小林崇仁「諏訪市萬福寺像『諏訪神社上宮神宮寺世代』翻刻と考察」『蓮花寺佛教研究所紀要第 4 号電子版』平成 24 年 4 月
- ④ 『定本 信州の仏像』しなのき書房 平成 20 年 8 月
- ⑤ 平田寛『絵仏師の時代』中央公論美術出版 平成 6 年 2 月

【これまでの経過】

平成 10 年度住友財団「文化財修復事業助成」により株式会社明古堂（代表・明珍昭二）による解体修理実施（「修理報告書」平成 12 年 3 月参照）

平成 27 年 4～5 月 長野県信濃美術館『いのりのかたち 信濃の仏像と国宝土偶展』出陳、および 5 月 27 日、熊田委員による調査

平成 27 年 11 月 16 日 熊田委員による現地調査

平成 31 年 1 月 31 日 平成 30 年度第 2 回長野県文化財保護審議会にて諮問

〈写真〉 木造不動明王立像 1 軀（長野市不動寺蔵）

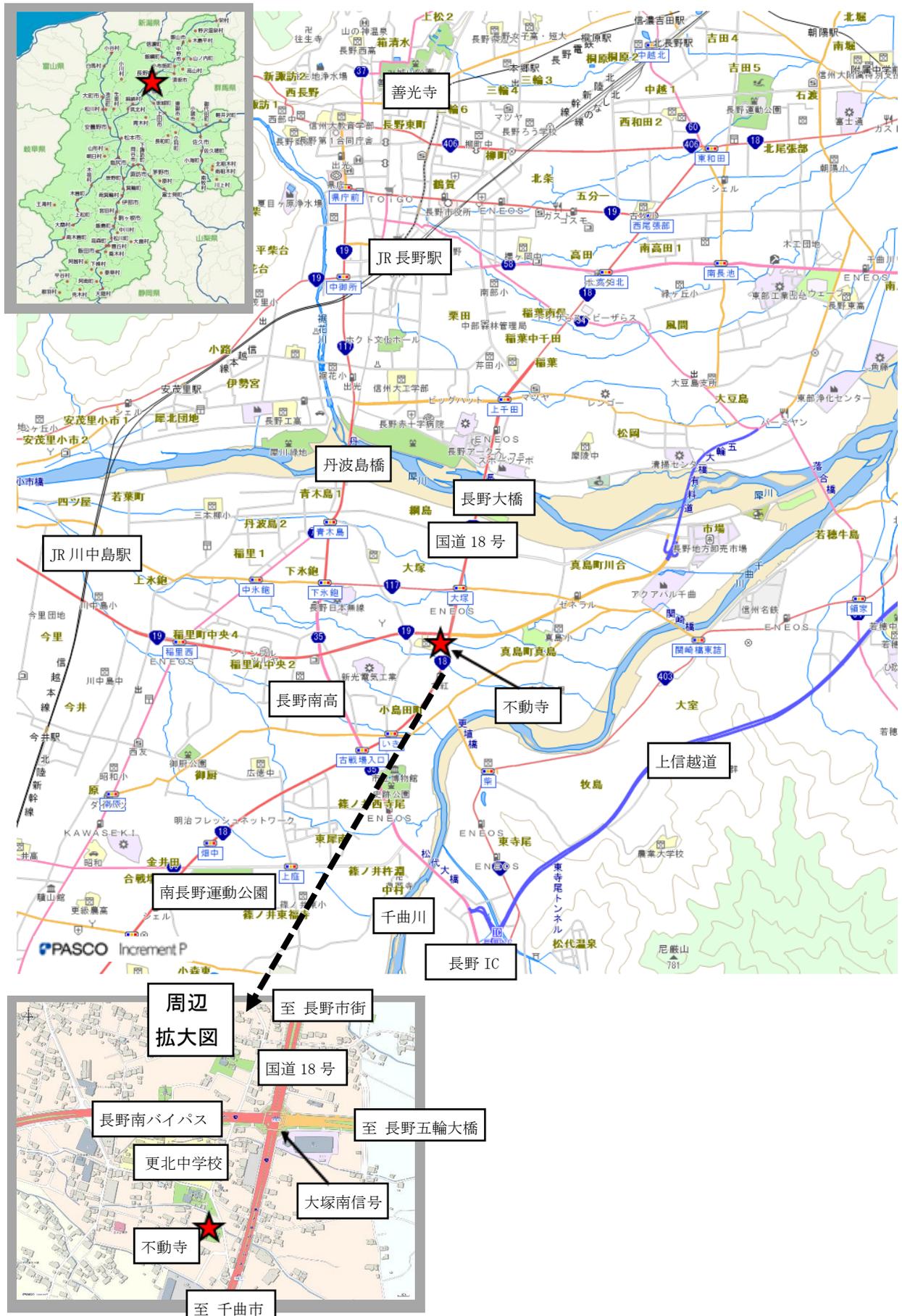






出典：株式会社明古堂『木造不動明王立像 修理報告書』（平成12年3月）

(位置図) 木造不動明王立像 1 軀 (長野市不動寺蔵)



長野県宝候補物件調査票

- | | |
|-----------|--|
| 1 種別 | 県宝（彫刻） |
| 2 名称 | 鉄造阿弥陀如来立像 |
| 3 員数 | 1 軀 |
| 4 所在地 | 長野県東筑摩郡筑北村東条八木 |
| 5 所有者及び名称 | 八木常会 |
| 代表責任者氏名 | 八木常会長 鎌田威 |
| 6 現状 | 鉄造、1 軀、像高 47.4 cm |
| 指定状況 | 旧本城村指定有形文化財（昭和 48 年 7 月 6 日） 現筑北村指定有形文化財（平成 17 年 10 月 11 日、町村合併による） |

7 概要と特色

(1) 伝来と由緒

本像は、明治初年の神仏分離で廃絶した真言宗大洞山大泉寺の本尊であったと伝えられる。大泉寺の廃絶後は跡地の八木集会所に安置され、昭和 48 年以降は近隣の八木虚空蔵堂に移安されたが、平成 17 年以降は八木公民館（平成 14 年新築、旧大泉寺・八木集会所跡地）に収蔵される。大泉寺はその山号から同集落東南の神体山・大洞山（標高 1,315m）の修験に関わる寺院とみられ、一説に弘長 2 年（1262）常陸坊祐弘による開山を伝えるが、確かな史料に乏しく、開創および本像の造立については明らかではない。

松本市と筑北村の境に東西に連なる虚空蔵山（標高 1,139m）から大洞山にかけての山々は、そこから発する河川や沢、湧水が平野部を潤し、その秀麗な山容と相俟って古くから人々の信仰の対象となつたらしく、南側の山麓や山腹には、すでに中世に多くの寺社が建立され、神仏習合の祭祀や修験道修行が行われていたと考えられている。北麓の筑北村側では大洞山に源流する東条川や大洞沢、小八木沢が平野部に出た辺に寺社が建立され、大泉寺もそのような一寺であったと考えられる。また当地は、古代の官道・東山道から分岐して北陸に至る支道が通る地域で、後に北国西脇往還（善光寺西街道）の難所と知られる立峠を越え、間宿となつた乱橋から西条に至る間にあり、主道から約 500m 東へ入った交通の要衝であった。善光寺阿弥陀信仰の隆盛しつつあつた 13 世紀後半に、いわば参詣道の途次に修験関係者によって建立された一字が大泉寺かと考えられ、60m 北の「地藏堂趾」や 200m 東の「八木虚空蔵堂」もあるいは同様の関連する堂であったかもしれない。

(2) 種類・形状・品質構造・制作年代・作者系統

本像は鉄造で、像高 47.4 cm、亡失した両手首先を別鑄とする以外の像身すべてを前後の合わせ型による一鑄としたもので、外型の合わせ目が両耳中央から左右の裾裾に通る鑄バリを残す。鉄厚は首後ろで 0.7 cm。火中しており鍍金は確認できない。体両側面に各上下 2 箇所（左は頭頂から 16.5 cm、地付きから 10.8 cm、右は頭頂から 13.5 cm、地付きから 11.5 cm）に筭を抜いた小孔（6 mm×3 mm）があり、右腋下、右裾、衲衣正面左側にも同様の筭の抜孔（各 1.7mm× 1.26mm、2 mm×2 mm、2 mm×7 mm）があるほか、背面の地付きから 10.5 cmにやや大きな方形の孔（横 2.3 cm×縦 2.2 cm）を開ける（型持痕を拓げたものか）。像内は像底から頭部内まで空洞とし、足柄をつくらない。像底に台座から立つ柄を挿して像を立てたと考えられる。体部内のほぼ全面に朱（または丹）を塗る。

像の体部背面から裾部にかけて「為入一切衆生骨 建治元年／十二月 日 西阿」の銘が陽鑄される。鑄型原型の雌型に左右逆転した文字を刻入したもので、年紀の二行の順が逆となるのはそのためであり、造像時の銘と認められる。建治元年（1275）に「一切衆生の骨を入れるため」に、願主・西阿によって造られたもので、銘文と内部の赤い彩色、背面に型持痕を広げたとみられる方形孔がある事から、追善対象者の骨を入れた骨蔵器として用いられたと考えられる。願主の西阿については他に知られないが、西阿弥陀仏の通称とみて時宗門徒、あるいは真言律宗系の阿弥陀信徒である可能性が指摘されている（参考文献 1）。

形状は螺髪粒状、髮際は正面中央に弛みを僅かにつくり、三道をあらわし、耳朶垂部は不貫とする。着衣形式は、裾、內衣、衲衣を着け、衲衣は上縁を折返し、左肩から右肩をおおって正面に回り、胸前を広く開けて內衣の縁をみせる通肩とし、再び左肩に懸かる。裾は正面左寄りの位置で右前に打ち合わせる。左手はゆるやかに垂下し、右手は右腋で屈臂して前に出す。両手先欠失。両足を少し開いて直立する（両足先欠失）。その着衣形式が長野市善光寺銅造阿弥陀三尊像（前立像、国重文）と同形式であることや規模・形姿から、善光寺式阿弥陀三尊の中尊阿弥陀如来立像とみられ、もとは右手が施無畏、左手が刀印（垂下し第二・第三指を伸ばす）であったと考えられる。

全体に火中損傷の痕が多く、現状では肉髻朱や白毫の痕を留めず、表面仕上げ（鍍金など）も不明であり、右耳垂部、左裾地付き部、両手先、両足先が欠失するほか右耳後方の一部を木製後補とする。三道下にそって首まわりに亀裂が入り、頭部と体部は現在、割損分離しており、光背（舟形拳身光背、頭光八葉蓮華、周縁雲唐草）および台座（蓮華座一蓮肉、仰蓮十二方二段、反花複子弁六方二段、框四方入隅）を各木製後補とする。

本像と法量・形状・作風がきわめて近く、同一原型と指摘されている作例として、栃木・大乘寺像（鉄造、像高 46.5 cm、平成 7 年県指定）、埼玉・天宗寺像（鉄造、像高 47.0 cm、昭和 48 年市指定、現・さいたま市県立歴史と民俗の博物館寄託）、埼玉・龍高寺像（銅造、像高 47.0 cm、昭和 34 年市指定）が知られている（参考文献 2, 3, 4）。

うち大乘寺像と天宗寺像には、背面肩下がり、本像と同位置に方形開口部が認められるが、銘を陽鑄するのは本像のみである。いずれも法量や像容が極めて近いことから、踏み返し法ではなく同一原型による造像と考えられるが、原型の摩損や鑄造技術によるものか、各像の表現に差異が少なくないことから、同一作者による同時-の造像ではないとみられる。

(3) 評価

鉄仏はわが国では平安末期からみられ、13世紀半ばを頂点として主に鎌倉時代から室町時代に流行し、江戸時代に至るまで約100件余の作例が認められるが、その約90%が中部・関東を中心とする東日本に現存している。栃木、埼玉県には室町時代以前の古例が各7件確認されているが、県下では、独尊像としては本像のみで、他に市指定では懸仏の本地仏であった千曲市・普携寺鉄造吉祥天立像（鎌倉末一室町初）1軀が知られるのみである。金工品では鉄鐘（佐久市個人蔵、平安前期、国重文）、鉄鍬形（長野市立博物館、平安、国重文）、鉄鱗口（大町山岳博物館蔵、安貞2/1228年、国重文）、鉄仏餉鉢（セゾン現代美術館、応安7/1374年、国重文）、鉄製羽釜（辰野美術館、平安時代、町指定、考古資料）他の古例が知られており、また県下には佐久市石附窯跡群（古墳末）以降、千曲市、長野市松代町、大町市、埴科郡坂城町、諏訪郡富士見町などで平安～室町時代の製鉄関連遺跡が多く確認されているが、それらが鉄仏造像の隆盛には直接は結びつかなかったようである。

同型像分布の事情や各地の製鉄遺跡との関係、本像の作者系統や製作地など、いずれも今後の研究に俟つところが多いが、数少ない鑄鉄製で、同型像のある善光寺式阿弥陀如来像であり、鎌倉時代の年紀、願主名、用途を銘記する本像は、善光寺仏、鉄仏の造像史および製鉄・鑄鉄文化史上、貴重な基準作例である。

8、指定理由および根拠

(1) 指定基準

長野県宝等の指定等に関する基準

第1 長野県宝の指定基準

- (1) 絵画及び彫刻
- イ 歴史上特に意義のある資料となるもの
 - ウ 題材、品質、形状又は技法等の点で、顕著な特性を示すもの

(2) 指定理由

鉄仏で銘記のある、骨蔵器としての善光寺式阿弥陀如来像中尊として全国的にも珍しい作例である。本像と法量・形状・作風がきわめて近く、同一原型と指摘されている阿弥陀如来立像が、栃木県・大乘寺（鉄造、県指定）、埼玉県・天宗寺（鉄造・羽生市指

定)、同・龍高寺(銅造・行田市指定)にも存在するが、建治元年(1275)の年紀と願主銘等を陽鑄するのは本像のみである。鉄仏の造像と普及、善光寺式像の同範・分有、用途の問題を考えるうえで欠かせない基準作例として美術史的、文化的に資料的価値が高く、県宝にふさわしいものである。

【参考文献】

- 1 松島 健 「鉄造阿弥陀如来立像(八木区)」『長野県史』美術建築史料編全一卷
長野県史刊行会、平成4年
- 2 佐藤昭夫・中村由信『日本の鉄仏』小学館 昭和55年
- 3 佐藤昭夫『鉄仏』(『日本の美術』252 至文堂 昭和62年
- 4 津田徹英「研究資料 善光寺式阿弥陀如来像ならびに観音菩薩像」『美術研究』391
平成19年
- 5 武笠 朗「阿弥陀如来像」『日本彫刻史基礎資料集成 鎌倉時代 造像銘記篇一二
平成28年
- 6 岡田正彦「長野県下の製鉄遺跡と下伊那」『飯田市美術博物館研究紀要18』平成20年

【これまでの経過】

- 平成21年4～5月 長野県信濃美術館「いのりのかたち 善光寺信仰展」出陳
平成27年4～5月 長野県信濃美術館「いのりのかたち 信濃の仏像と国宝土偶展」
出陳
平成27年11月17日 熊田委員調査実施

〈写真〉 鉄造阿弥陀如来立像 1 軀（筑北村八木区蔵）



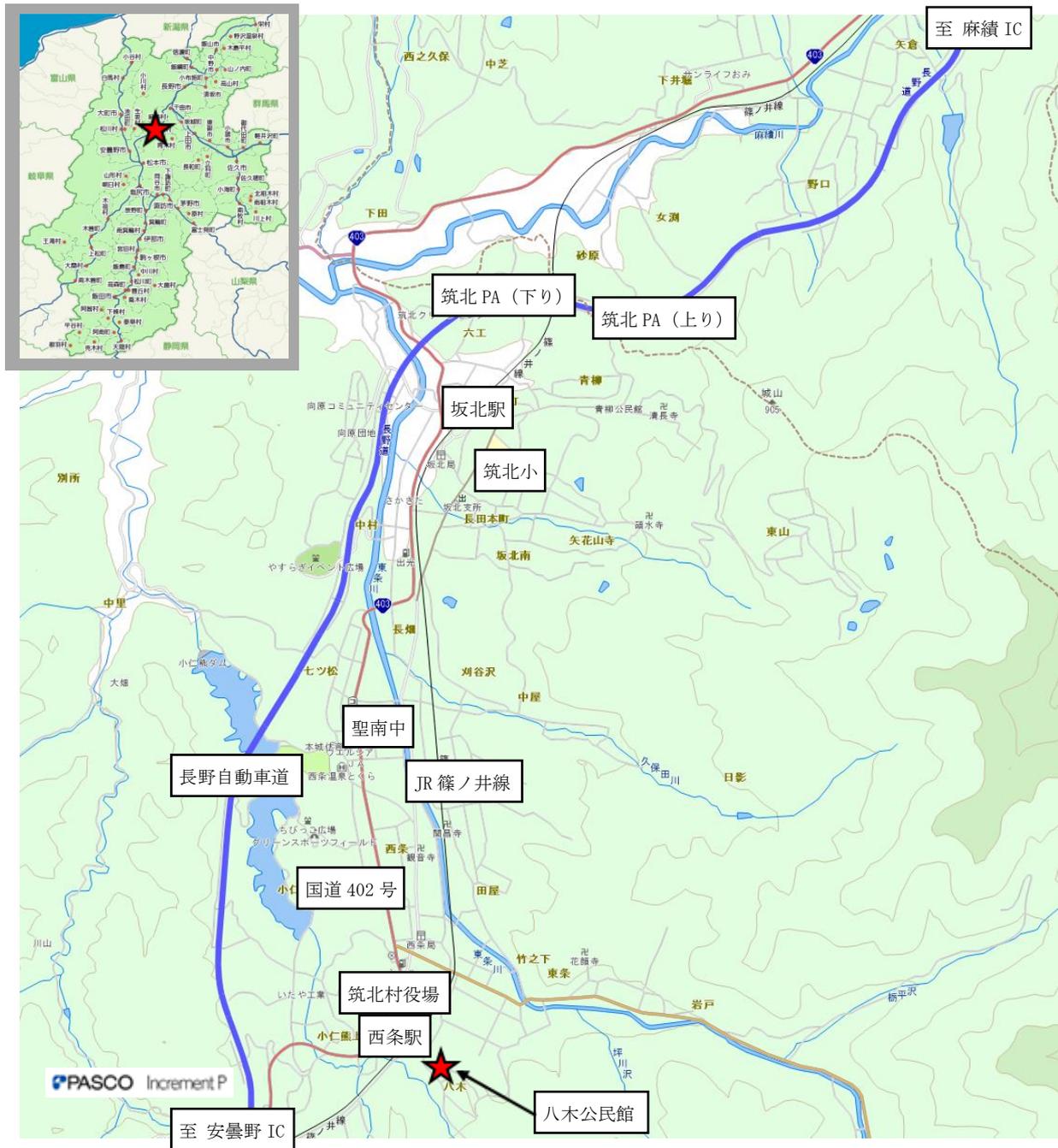




銘記「為入一切衆生骨 建治元年／十二月 日 西阿」



〈位置図〉 鉄造阿弥陀如来立像 1 軀（筑北村八木区蔵）



長野県宝候補物件調査票

- 1 種 別 有形文化財 県宝（考古資料）
- 2 名 称 エリ穴遺跡出土品
- 3 員 数 485点
- 4 所在地 松本市大字中山3738番地1（松本市立考古博物館）
- 5 所有者の氏名又は名称 松本市
- 6 管理者の氏名又は名称 同上
- 7 年 代 縄文時代

8 概要と特色

（1）遺跡の概要

エリ穴遺跡は、松本市域の南東部、鉢伏山の山麓に位置し、縄文時代中期中葉（約 4,500 年前）から晩期後葉（約 2,300 年前）にわたって営まれた拠点集落である。とくに甲信地域で集落が減少する後期後葉（約 3,400 年前）から晩期中葉（約 2,600 年前）においても、継続して営まれた稀有な集落である。平成 7 年（1995 年）に圃場整備事業に伴う発掘調査が行われ、平成 31 年（2019 年）3 月 31 日に発掘調査報告書が刊行されている。

（2）候補物件の概要

候補物件は、発掘調査報告書に掲載されたもので、エリ穴遺跡の特色を示す縄文時代後期後葉から晩期中葉の出土品のうち、学術的・美術工芸的に価値の高い資料を選定した（別紙）。

（ア）土製耳飾 348 点

地域における系統や編年の基準資料となり得るもの。

（イ）土偶、土版・中空動物形土製品、その他土製品 77 点

地域における系統や他地域との関連を示すもの。

(ウ) 土器 49点

地域の特徴や他地域との関連を表すもの。人面付土器等の特殊な器種・器形をもつもの。

(エ) 石製品 11点

特徴的な石製祭祀用具。

(3) 候補物件の評価

土製耳飾は、出土点数が際立って多く、かつ発掘調査によってそのすべての出土状態が明らかになっている重要な資料である。製作技法や文様の変化から土製耳飾の形態や装飾の変遷を追うことができる資料は、他に類を見ない。また、そこに施された文様は、他地域の模倣ではなく、独自の技術による精緻なものであり、学術的価値とともに美術工芸的な価値も高い。

土製品のうち土偶は、「顔面付分銅形土偶」という独自の形態であり、東海から関西にみられる「分銅形土偶」をベースとして関東の「山形土偶」等の要素が加わって成立したものである。その他、東北の「遮光器土偶」の影響を受けたものもある。また、中空動物形土製品とされるものは、鳥を象ったもののみで構成されるという特徴をみることができる。

土器は、甲信地域に特徴的なもの（後期、上ノ段式）のほか、関東（晩期、安行式）や東北（晩期、亀ヶ岡式）の影響を受けたものがみられる。

石製品には、石棒や石刀、石冠等があり、祭祀儀礼といった側面も明らかにすることができる。

9 指定基準および理由

(1) 指定基準

長野県宝等の指定等に関する基準

第1 長野県宝の指定基準

(5)考古資料 ア 縄文時代及びそれ以前の遺物で学術上重要なもの

(2) 指定理由

エリ穴遺跡出土品は、縄文時代後期後葉から晩期中葉にかけて遺跡が著しく

減少する甲信地域の趨勢にあつて、エリ穴遺跡出土品は質量ともに抜きん出た遺物群であり、かつ当時の交易や祭祀儀礼を解明するうえで重要な資料である。土製耳飾は、全国最多の 2,643 点を数え、形態や装飾の変遷が追える類を見ない資料である。その造形は、技巧的にも優れており、縄文人の繊細で緻密な工芸技術の一端をよく示したものといえる。そのような造形を生み出した集落は、他地域との交流によって成り立っていたことが土偶・土器等からも理解され、また豊富な石製祭祀用具からは祭祀儀礼、呪術などの精神世界との関わりをうかがうことができる。

以上のように、甲信地域の縄文社会を解明するうえで学術上重要な資料であり、県宝指定に相応しいと考えられる。

10 調査日 令和元年 12 月 17 日

11 調査者氏名 高橋龍三郎

12 参考文献 松本市教育委員会 『松本市文化財調査報告No.228 エリ穴遺跡—発掘調査報告書—』 2019 年

指定候補物件 一覧表
(1) 土製耳飾

348点

| 番号 | 法量 (cm・g) | | | | 遺存率 (%) | 品質形状等 | 報告番号 | | 報告書頁 | |
|----|-----------|-------|----|------|---------|---------------------------|------|--------|------|----|
| | 直径 | 高さ | 厚さ | 重量 | | | 分冊 | No | 図版 | 写真 |
| 1 | 7.8 | 2.2 | - | 43.6 | 40 | 内開弧ブレッツ系統傍系列A第1段階、後期末葉 | 3 | e- 1 | 2 | 5 |
| 2 | 3.5 | 1.5 | - | 14.2 | 95 | 内開弧ブレッツ系統主系列第3段階、晩期初頭 | 3 | e- 2 | 2 | 5 |
| 3 | 4.0 | 1.8 | - | 25.2 | 100 | 内開弧ブレッツ系統主系列第3段階、晩期初頭 | 3 | e- 3 | 2 | 5 |
| 4 | 4.4 | 2.0 | - | 28.3 | 80 | 内開弧ブレッツ系統主系列第3段階、晩期初頭 | 3 | e- 6 | 2 | 5 |
| 5 | 3.5 | 1.5 | - | 12.9 | 85 | 内開弧ブレッツ系統主系列第3段階、晩期初頭 | 3 | e- 7 | 2 | 5 |
| 6 | 5.2 | 2.1 | - | 33.5 | 100 | 内開弧ブレッツ系統主系列第4段階、晩期初頭 | 3 | e- 8 | 2 | 5 |
| 7 | 4.0 | 1.7 | - | 17.3 | 95 | 内開弧ブレッツ系統主系列第4段階、晩期初頭 | 3 | e- 9 | 2 | 5 |
| 8 | 2.9 | 1.5 | - | 7.5 | 60 | 内開弧ブレッツ系統主系列第5段階、晩期初頭 | 3 | e- 11 | 2 | 5 |
| 9 | 5.8 | 1.8 | - | 44.0 | 95 | 内開弧ブレッツ系統傍系列C第5段階、晩期初頭 | 3 | e- 12 | 2 | 5 |
| 10 | 4.2 | 1.6 | - | 12.2 | 80 | 内開弧ブレッツ系統主系列第6段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 13 | 2 | 5 |
| 11 | 3.2 | 1.6 | - | 13.7 | 95 | 内開弧ブレッツ系統主系列第7段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 15 | 2 | 5 |
| 12 | 2.6 | 1.5 | - | 7.9 | 90 | 内開弧ブレッツ系統主系列第7段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 16 | 2 | 5 |
| 13 | 3.4 | 1.6 | - | 11.0 | 85 | 内開弧ブレッツ系統主系列第8段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 17 | 2 | 5 |
| 14 | 3.8 | 1.7 | - | 18.3 | 90 | 内開弧ブレッツ系統主系列第8段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 18 | 2 | 5 |
| 15 | 4.4 | 1.9 | - | 18.9 | 90 | 内開弧ブレッツ系統主系列第9段階、晩期前葉 | 3 | e- 19 | 2 | 5 |
| 16 | 3.8 | 1.6 | - | 13.3 | 100 | 内開弧ブレッツ系統主系列第9段階、晩期前葉 | 3 | e- 20 | 2 | 5 |
| 17 | 2.3 | 1.4 | - | 6.1 | 100 | 内開弧ブレッツ系統主系列第10段階、晩期前葉 | 3 | e- 22 | 3 | 5 |
| 18 | 2.3 | 1.2 | - | 3.5 | 100 | 内開弧ブレッツ系統主系列第10段階、晩期前葉 | 3 | e- 23 | 3 | 5 |
| 19 | 1.8 | 1.2 | - | 3.2 | 95 | 内開弧ブレッツ系統主系列第10段階、晩期前葉 | 3 | e- 26 | 3 | 5 |
| 20 | 1.3 | 2.1 | - | 2.7 | 100 | 内開弧ブレッツ系統主系列第11段階、晩期前葉 | 3 | e- 28 | 3 | 5 |
| 21 | 1.8 | 1.5 | - | 3.6 | 95 | 内開弧ブレッツ系統主系列第11段階、晩期前葉 | 3 | e- 29 | 3 | 5 |
| 22 | 2.0 | 1.1 | - | 2.8 | 80 | 内開弧ブレッツ系統主系列第11段階、晩期前葉 | 3 | e- 30 | 3 | 5 |
| 23 | 2.3 | 1.5 | - | 5.8 | 100 | 内開弧ブレッツ系統主系列第11段階、晩期前葉 | 3 | e- 31 | 3 | 5 |
| 24 | 7.5 | 1.8 | - | 48.4 | 80 | 内開弧ブレッツ系統傍系列B第4段階、晩期初頭 | 3 | e- 32 | 3 | 6 |
| 25 | [6.0] | [2.0] | - | 55.7 | 80 | 内開弧ブレッツ系統傍系列B第4段階、晩期初頭 | 3 | e- 33 | 3 | 6 |
| 26 | 2.2 | 1.9 | - | 8.2 | 95 | 内開弧ブレッツ系統傍系列D第10段階、晩期前葉 | 3 | e- 34 | 3 | 6 |
| 27 | 2.6 | 1.8 | - | 11.5 | 100 | 内開弧ブレッツ系統傍系列D第10段階、晩期前葉 | 3 | e- 35 | 3 | 6 |
| 28 | 2.3 | 1.2 | - | 4.3 | 90 | 内開弧ブレッツ系統傍系列D第11段階、晩期前葉 | 3 | e- 36 | 3 | 6 |
| 29 | 3.9 | 1.6 | - | 17.0 | 95 | 内開弧ブレッツ系統傍系列D第8段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 37 | 3 | 6 |
| 30 | 4.4 | 2.1 | - | 36.6 | 95 | 内開弧ブレッツ系統傍系列E第3～4段階、晩期初頭 | 3 | e- 38 | 3 | 6 |
| 31 | 3.3 | 1.9 | - | 18.1 | 85 | 内開弧ブレッツ系統傍系列E第3～4段階、晩期初頭 | 3 | e- 39 | 3 | 6 |
| 32 | 2.1 | 1.2 | - | 3.3 | 90 | 外周帯外傾系統巴系列第1段階、後期末葉～晩期初頭 | 3 | e- 62 | 5 | 6 |
| 33 | 2.1 | [1.6] | - | 6.4 | 80 | 外周帯外傾系統直線系列第1段階、後期末葉～晩期初頭 | 3 | e- 63 | 5 | 6 |
| 34 | 3.4 | 1.9 | - | 13.0 | 90 | 外周帯外傾系統巴系列第2段階、晩期初頭 | 3 | e- 64 | 5 | 6 |
| 35 | 3.2 | 2.5 | - | 18.4 | 100 | 外周帯外傾系統直線系列第2段階、晩期初頭 | 3 | e- 65 | 5 | 6 |
| 36 | 3.5 | 1.7 | - | 8.6 | 90 | 外周帯外傾系統巴系列第3段階、晩期初頭 | 3 | e- 67 | 5 | 6 |
| 37 | 3.6 | 2.0 | - | 17.3 | 95 | 外周帯外傾系統直線系列第3段階、晩期初頭 | 3 | e- 68 | 5 | 6 |
| 38 | 4.6 | 1.9 | - | 23.4 | 90 | 外周帯外傾系統巴系列第4段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 69 | 5 | 6 |
| 39 | 2.7 | 1.5 | - | 6.2 | 95 | 外周帯外傾系統巴系列第4段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 70 | 5 | 6 |
| 40 | 3.4 | 2.1 | - | 11.5 | 95 | 外周帯外傾系統直線系列第4段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 71 | 5 | 6 |
| 41 | 3.2 | 1.8 | - | 8.9 | 80 | 外周帯外傾系統巴系列第6段階、晩期前葉 | 3 | e- 75 | 5 | 6 |
| 42 | 4.3 | 1.8 | - | 10.6 | 75 | 外周帯外傾系統巴系列第7段階、晩期前葉 | 3 | e- 78 | 5 | 6 |
| 43 | 1.7 | 1.8 | - | 3.9 | 90 | 内周帯巴文系統非中心帯系列第1段階、晩期初頭 | 3 | e- 93 | 6 | 7 |
| 44 | 1.8 | 1.2 | - | 3.5 | 100 | 内周帯巴文系統中心帯系列第2段階、晩期初頭 | 3 | e- 94 | 6 | 7 |
| 45 | 2.3 | 1.6 | - | 8.9 | 90 | 内周帯巴文系統非中心帯系列第2段階、晩期初頭 | 3 | e- 95 | 6 | 7 |
| 46 | 2.0 | 1.7 | - | 5.6 | 90 | 内周帯巴文系統非中心帯系列第2段階、晩期初頭 | 3 | e- 96 | 6 | 7 |
| 47 | 1.7 | 1.3 | - | 4.3 | 100 | 内周帯巴文系統非中心帯系列第2段階、晩期初頭 | 3 | e- 97 | 6 | 7 |
| 48 | 2.1 | 1.7 | - | 5.3 | 100 | 内周帯巴文系統中心帯系列第3段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 98 | 6 | 7 |
| 49 | 3.0 | 1.7 | - | 12.2 | 95 | 内周帯巴文系統非中心帯系列第3段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 99 | 6 | 7 |
| 50 | 4.7 | 1.9 | - | 27.2 | 80 | 内周帯巴文系統非中心帯系列第3段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 100 | 6 | 7 |
| 51 | 3.4 | 1.8 | - | 14.7 | 85 | 内周帯巴文系統非中心帯系列第3段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 101 | 6 | 7 |
| 52 | [3.2] | 1.4 | - | 10.7 | 80 | 内周帯巴文系統非中心帯系列第3段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 102 | 6 | 7 |
| 53 | 2.8 | 1.4 | - | 9.1 | 100 | 内周帯巴文系統非中心帯系列第3段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 103 | 6 | 7 |
| 54 | 3.3 | 1.6 | - | 10.0 | 70 | 内周帯巴文系統中心帯系列第4段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 104 | 6 | 7 |
| 55 | 2.2 | 1.3 | - | 4.9 | 100 | 内周帯巴文系統非中心帯系列第4段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 105 | 6 | 7 |
| 56 | 1.6 | 1.5 | - | 3.0 | 100 | 内周帯巴文系統非中心帯系列第5段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 106 | 6 | 7 |
| 57 | 1.8 | 1.4 | - | 4.4 | 95 | 内周帯巴文系統非中心帯系列第6段階、晩期前葉 | 3 | e- 107 | 6 | 7 |
| 58 | 1.9 | 1.7 | - | 5.9 | 70 | 渦巻文系統第1段階、後期末葉 | 3 | e- 109 | 6 | 7 |
| 59 | 5.3 | 1.7 | - | 43.8 | 95 | 渦巻文系統第3段階(後期末葉～晩期初頭) | 3 | e- 112 | 7 | 7 |
| 60 | 2.6 | 1.8 | - | 10.7 | 100 | 渦巻文系統第4段階、晩期初頭 | 3 | e- 113 | 7 | 7 |
| 61 | 3.1 | 2.1 | - | 21.0 | 90 | 渦巻文系統第4段階、晩期初頭 | 3 | e- 114 | 7 | 7 |
| 62 | 2.2 | 1.6 | - | 6.3 | 100 | 渦巻文系統第4段階、晩期初頭 | 3 | e- 115 | 7 | 7 |
| 63 | 2.3 | 1.3 | - | 5.8 | 100 | 渦巻文系統第4段階、晩期初頭 | 3 | e- 116 | 7 | 7 |
| 64 | 3.5 | 1.7 | - | 23.0 | 100 | 同心円文系統主系列第1段階、後期末葉 | 3 | e- 119 | 7 | 7 |
| 65 | 7.3 | 2.3 | - | 87.2 | 70 | 同心円文系統主系列第2段階、後期末葉～晩期初頭 | 3 | e- 121 | 7 | 7 |
| 66 | 4.4 | 2.1 | - | 38.1 | 80 | 同心円文系統主系列第3段階、後期末葉～晩期初頭 | 3 | e- 123 | 7 | 7 |
| 67 | 2.6 | 2.4 | - | 11.6 | 90 | 同心円文系統主系列第3段階、後期末葉～晩期初頭 | 3 | e- 124 | 7 | 7 |
| 68 | 2.8 | 1.7 | - | 11.1 | 95 | 同心円文系統主系列第4段階、晩期初頭 | 3 | e- 125 | 7 | 8 |
| 69 | 3.2 | 1.8 | - | 17.4 | 90 | 同心円文系統主系列第4段階、晩期初頭 | 3 | e- 126 | 7 | 8 |
| 70 | 3.0 | 1.8 | - | 14.0 | 100 | 同心円文系統主系列第5段階、晩期初頭 | 3 | e- 128 | 7 | 8 |
| 71 | 2.7 | 1.7 | - | 10.7 | 95 | 同心円文系統主系列第5段階、晩期初頭 | 3 | e- 129 | 7 | 8 |
| 72 | 2.4 | 1.5 | - | 7.0 | 100 | 同心円文系統主系列第6段階(晩期初頭～前葉) | 3 | e- 130 | 7 | 8 |
| 73 | 2.1 | 1.8 | - | 7.0 | 100 | 同心円文系統主系列第6段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 131 | 7 | 8 |
| 74 | 2.2 | 1.6 | - | 6.9 | 95 | 同心円文系統主系列第6段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 133 | 7 | 8 |
| 75 | 2.1 | 1.4 | - | 5.6 | 100 | 同心円文系統主系列第7段階a、晩期前葉 | 3 | e- 134 | 7 | 8 |
| 76 | 2.0 | 1.4 | - | 5.3 | 90 | 同心円文系統主系列第7段階a、晩期前葉 | 3 | e- 135 | 7 | 8 |
| 77 | 1.9 | 1.4 | - | 4.2 | 90 | 同心円文系統主系列第7段階a、晩期前葉 | 3 | e- 136 | 8 | 8 |
| 78 | 1.8 | 1.7 | - | 6.2 | 95 | 同心円文系統主系列第7段階a、晩期前葉 | 3 | e- 137 | 8 | 8 |
| 79 | 2.3 | 1.5 | - | 4.0 | 95 | 同心円文系統主系列第7段階a、晩期前葉 | 3 | e- 138 | 8 | 8 |
| 80 | 1.9 | 1.3 | - | 4.0 | 95 | 同心円文系統主系列第7段階a、晩期前葉 | 3 | e- 139 | 8 | 8 |
| 81 | 1.6 | 1.3 | - | 3.0 | 100 | 同心円文系統主系列第7段階b、晩期前葉 | 3 | e- 142 | 8 | 8 |

| | | | | | | | | | | |
|-----|-------|-------|---|------|-----|---------------------------|---|--------|----|----|
| 82 | 1.4 | 1.1 | - | 1.9 | 100 | 同心円文系統主系列第7段階b、晩期前葉 | 3 | e- 143 | 8 | 8 |
| 83 | 1.7 | 1.3 | - | 3.1 | 95 | 同心円文系統主系列第7段階b、晩期前葉 | 3 | e- 144 | 8 | 8 |
| 84 | 1.3 | 1.2 | - | 1.7 | 100 | 同心円文系統主系列第7段階b、晩期前葉 | 3 | e- 145 | 8 | 8 |
| 85 | 1.8 | 1.4 | - | 4.1 | 100 | 同心円文系統主系列第7段階b、晩期前葉 | 3 | e- 146 | 8 | 8 |
| 86 | 1.5 | 1.4 | - | 3.5 | 95 | 同心円文系統主系列第8段階、晩期前葉 | 3 | e- 148 | 8 | 8 |
| 87 | 1.7 | 1.3 | - | 3.2 | 95 | 同心円文系統主系列第8段階、晩期前葉 | 3 | e- 149 | 8 | 8 |
| 88 | 1.5 | 1.2 | - | 2.6 | 80 | 同心円文系統主系列第8段階、晩期前葉 | 3 | e- 150 | 8 | 8 |
| 89 | 1.3 | 1.4 | - | 2.1 | 95 | 同心円文系統主系列第8段階、晩期前葉 | 3 | e- 151 | 8 | 8 |
| 90 | 1.5 | 1.3 | - | 3.1 | 95 | 同心円文系統主系列第8段階、晩期前葉 | 3 | e- 153 | 8 | - |
| 91 | 3.8 | 2.1 | - | 31.7 | 95 | 同心円文系統傍系列A第1段階、後期末葉 | 3 | e- 154 | 8 | 8 |
| 92 | 3.4 | 2.0 | - | 21.5 | 85 | 同心円文系統傍系列A第1段階、後期末葉 | 3 | e- 155 | 8 | 8 |
| 93 | 3.2 | (1.6) | - | 13.2 | 70 | 同心円文系統傍系列A第4段階、晩期初頭 | 3 | e- 156 | 8 | 8 |
| 94 | 3.6 | 1.7 | - | 14.0 | 90 | 同心円文系統傍系列C第1段階、後期末葉 | 3 | e- 158 | 8 | 8 |
| 95 | 2.7 | 1.7 | - | 14.9 | 100 | サザミ界線系統主系列第1段階、後期末葉 | 3 | e- 161 | 8 | 9 |
| 96 | 3.2 | 1.4 | - | 9.8 | 85 | サザミ界線系統主系列第2段階、後期末葉 | 3 | e- 162 | 8 | 9 |
| 97 | 2.7 | 1.6 | - | 4.7 | 40 | サザミ界線系統主系列第2段階、後期末葉 | 3 | e- 163 | 9 | 9 |
| 98 | 2.6 | 1.8 | - | 9.7 | 95 | サザミ界線系統主系列第2段階、後期末葉 | 3 | e- 165 | 9 | 9 |
| 99 | 3.3 | 1.8 | - | 14.4 | 100 | サザミ界線系統主系列第3段階、後期末葉～晩期初頭 | 3 | e- 167 | 9 | 9 |
| 100 | 4.1 | 2.3 | - | 24.6 | 90 | サザミ界線系統主系列第3段階、後期末葉～晩期初頭 | 3 | e- 169 | 9 | 9 |
| 101 | 4.4 | 2.2 | - | 30.8 | 95 | サザミ界線系統主系列第3段階、後期末葉～晩期初頭 | 3 | e- 171 | 9 | 9 |
| 102 | 3.6 | 2.2 | - | 20.7 | 100 | サザミ界線系統主系列第3段階、後期末葉～晩期初頭 | 3 | e- 172 | 9 | 9 |
| 103 | 3.7 | 1.8 | - | 9.7 | 85 | サザミ界線系統主系列第3段階、後期末葉～晩期初頭 | 3 | e- 173 | 9 | 9 |
| 104 | 2.2 | 1.1 | - | 4.6 | 100 | サザミ界線系統主系列第3段階、後期末葉～晩期初頭 | 3 | e- 174 | 9 | 9 |
| 105 | 2.9 | 1.4 | - | 12.0 | 95 | サザミ界線系統主系列第3段階、後期末葉～晩期初頭 | 3 | e- 176 | 9 | 9 |
| 106 | 3.8 | 2.0 | - | 15.2 | 95 | サザミ界線系統主系列第4段階、晩期初頭 | 3 | e- 179 | 9 | 9 |
| 107 | 4.2 | 1.7 | - | 16.4 | 95 | サザミ界線系統主系列第4段階、晩期初頭 | 3 | e- 180 | 9 | 9 |
| 108 | 3.7 | 1.8 | - | 12.0 | 95 | サザミ界線系統主系列第4段階、晩期初頭 | 3 | e- 181 | 9 | 9 |
| 109 | 4.4 | 2.0 | - | 17.6 | 100 | サザミ界線系統主系列第4段階、晩期初頭 | 3 | e- 183 | 9 | 9 |
| 110 | 4.0 | 1.8 | - | 13.0 | 90 | サザミ界線系統主系列第4段階、晩期初頭 | 3 | e- 184 | 9 | 9 |
| 111 | 3.0 | 1.8 | - | 10.0 | 90 | サザミ界線系統主系列第4段階、晩期初頭 | 3 | e- 185 | 9 | 9 |
| 112 | 3.1 | 1.5 | - | 10.2 | 90 | サザミ界線系統主系列第4段階、晩期初頭 | 3 | e- 186 | 9 | 9 |
| 113 | 2.6 | 1.5 | - | 5.3 | 80 | サザミ界線系統主系列第4段階、晩期初頭 | 3 | e- 187 | 10 | 9 |
| 114 | 3.4 | 1.8 | - | 10.2 | 95 | サザミ界線系統主系列第5段階、晩期初頭 | 3 | e- 192 | 10 | 10 |
| 115 | 4.3 | 1.8 | - | 14.6 | 100 | サザミ界線系統主系列第5段階、晩期初頭 | 3 | e- 194 | 10 | 10 |
| 116 | 4.0 | 1.8 | - | 17.2 | 100 | サザミ界線系統主系列第5段階、晩期初頭 | 3 | e- 195 | 10 | 10 |
| 117 | 4.5 | 1.9 | - | 16.8 | 95 | サザミ界線系統主系列第5段階、晩期初頭 | 3 | e- 196 | 10 | 10 |
| 118 | 4.4 | 2.0 | - | 18.5 | 90 | サザミ界線系統主系列第5段階、晩期初頭 | 3 | e- 199 | 10 | 10 |
| 119 | 4.6 | 1.8 | - | 15.8 | 90 | サザミ界線系統主系列第5段階、晩期初頭 | 3 | e- 202 | 10 | 10 |
| 120 | 4.0 | 1.9 | - | 14.3 | 80 | サザミ界線系統主系列第6～7段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 218 | 11 | 10 |
| 121 | 3.6 | 1.7 | - | 13.3 | 90 | サザミ界線系統主系列第6～7段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 219 | 11 | 10 |
| 122 | 4.1 | 1.8 | - | 15.4 | 90 | サザミ界線系統主系列第6～7段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 220 | 11 | 10 |
| 123 | 3.6 | 1.7 | - | 10.3 | 95 | サザミ界線系統主系列第6～7段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 223 | 11 | 10 |
| 124 | 4.0 | 2.0 | - | 17.6 | 95 | サザミ界線系統主系列第8～10段階、晩期前葉 | 3 | e- 244 | 12 | 10 |
| 125 | 4.9 | 1.9 | - | 16.7 | 65 | サザミ界線系統主系列第8～10段階、晩期前葉 | 3 | e- 245 | 12 | 10 |
| 126 | 3.9 | 1.8 | - | 12.7 | 95 | サザミ界線系統主系列第8～10段階、晩期前葉 | 3 | e- 246 | 12 | 10 |
| 127 | 4.2 | 2.1 | - | 9.3 | 70 | サザミ界線系統主系列第11段階、晩期前葉 | 3 | e- 260 | 13 | 10 |
| 128 | 2.7 | 1.5 | - | 4.8 | 55 | サザミ界線系統単位文系列第4段階、晩期初頭 | 3 | e- 263 | 13 | 11 |
| 129 | 4.4 | 1.8 | - | 15.1 | 80 | サザミ界線系統単位文系列第4段階、晩期初頭 | 3 | e- 264 | 13 | 11 |
| 130 | 4.2 | 1.6 | - | 16.4 | 100 | サザミ界線系統単位文系列第4段階、晩期初頭 | 3 | e- 267 | 13 | 11 |
| 131 | 3.7 | 1.5 | - | 9.4 | 90 | サザミ界線系統単位文系列第4段階、晩期初頭 | 3 | e- 268 | 13 | 11 |
| 132 | 4.1 | 1.8 | - | 18.4 | 95 | サザミ界線系統単位文系列第5段階、晩期初頭 | 3 | e- 270 | 14 | 11 |
| 133 | 4.1 | 1.7 | - | 14.8 | 95 | サザミ界線系統単位文系列第5段階、晩期初頭 | 3 | e- 271 | 14 | 11 |
| 134 | 2.6 | (1.4) | - | 5.6 | 70 | サザミ界線系統単位文系列第5段階、晩期初頭 | 3 | e- 273 | 14 | 11 |
| 135 | 4.6 | 1.8 | - | 8.2 | 50 | サザミ界線系統単位文系列第5段階、晩期初頭 | 3 | e- 275 | 14 | 11 |
| 136 | 2.7 | 1.6 | - | 7.3 | 95 | サザミ界線系統単位文系列第5段階、晩期初頭 | 3 | e- 276 | 14 | 11 |
| 137 | 4.1 | 1.9 | - | 19.5 | 95 | サザミ界線系統単位文系列第6段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 279 | 14 | 11 |
| 138 | 3.8 | 1.8 | - | 13.1 | 80 | サザミ界線系統単位文系列第6段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 280 | 14 | 11 |
| 139 | 4.6 | 1.8 | - | 3.5 | 25 | サザミ界線系統単位文系列第7段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 281 | 14 | 11 |
| 140 | 4.2 | 1.9 | - | 18.1 | 95 | サザミ界線系統単位文系列第7段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 282 | 14 | 11 |
| 141 | 4.8 | 2.0 | - | 3.7 | 20 | サザミ界線系統単位文系列第8段階、晩期前葉 | 3 | e- 283 | 14 | - |
| 142 | 3.8 | 1.7 | - | 4.2 | 30 | サザミ界線系統単位文系列第8段階、晩期前葉 | 3 | e- 284 | 14 | 11 |
| 143 | 5.6 | 1.9 | - | 3.8 | 20 | サザミ界線系統単位文系列第9段階、晩期前葉 | 3 | e- 298 | 15 | 11 |
| 144 | 5.2 | 1.7 | - | 3.7 | 20 | サザミ界線系統単位文系列第9段階、晩期前葉 | 3 | e- 299 | 15 | 11 |
| 145 | 3.6 | 1.8 | - | 5.4 | 40 | サザミ界線系統単位文系列第9段階、晩期前葉 | 3 | e- 305 | 15 | 11 |
| 146 | 4.5 | 1.7 | - | 12.7 | 90 | サザミ界線系統単位文系列第10段階、晩期前葉 | 3 | e- 306 | 15 | 11 |
| 147 | 4.4 | 1.7 | - | 3.3 | 20 | サザミ界線系統単位文系列第10段階、晩期前葉 | 3 | e- 310 | 16 | - |
| 148 | 4.5 | 1.8 | - | 3.1 | 25 | サザミ界線系統単位文系列第10段階、晩期前葉 | 3 | e- 311 | 16 | - |
| 149 | 5.0 | 1.9 | - | 2.3 | 15 | サザミ界線系統単位文系列第11段階、晩期前葉 | 3 | e- 320 | 16 | - |
| 150 | 4.2 | 1.5 | - | 31.0 | 90 | 丸瘤文系統第1段階、後期末葉 | 3 | e- 323 | 16 | 12 |
| 151 | 3.8 | 1.8 | - | 31.7 | 95 | 丸瘤文系統第1段階、後期末葉 | 3 | e- 324 | 16 | 12 |
| 152 | 4.3 | 1.6 | - | 28.7 | 80 | 丸瘤文系統第1段階、後期末葉 | 3 | e- 325 | 16 | 12 |
| 153 | 2.3 | 1.3 | - | 7.5 | 80 | 丸瘤文系統第1段階、後期末葉 | 3 | e- 326 | 16 | 12 |
| 154 | 4.2 | 1.8 | - | 33.8 | 90 | 丸瘤文系統第2段階、後期末葉～晩期初頭 | 3 | e- 327 | 16 | 12 |
| 155 | 2.4 | 1.6 | - | 11.6 | 90 | 丸瘤文系統第2段階、後期末葉～晩期初頭 | 3 | e- 328 | 17 | 12 |
| 156 | 3.4 | 1.0 | - | 9.8 | 70 | 丸瘤文系統第2段階、後期末葉～晩期初頭 | 3 | e- 329 | 17 | 12 |
| 157 | [6.2] | [3.0] | - | 77.3 | 70 | 外開弧の系統、内開弧第3～4段階対応、晩期初頭 | 3 | e- 330 | 17 | 12 |
| 158 | 6.3 | 2.4 | - | 41.7 | 80 | 円・長円の系統、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 333 | 17 | 12 |
| 159 | 4.8 | 2.4 | - | 25.2 | 60 | 円・長円の系統、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 334 | 17 | 12 |
| 160 | 6.0 | (2.2) | - | 40.3 | 60 | 円・長円の系統、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 335 | 17 | 12 |
| 161 | 4.7 | 2.7 | - | 35.6 | 80 | 鼓形の系統古相、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 337 | 17 | 12 |
| 162 | 3.7 | 2.5 | - | 17.7 | 95 | 鼓形の系統古相、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 338 | 17 | 12 |
| 163 | 5.0 | 1.7 | - | 25.4 | 75 | 鼓形の系統中相、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 339 | 17 | 12 |
| 164 | 4.8 | 1.5 | - | 19.3 | 70 | 鼓形の系統中相、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 347 | 18 | 12 |
| 165 | 3.5 | 1.7 | - | 16.3 | 95 | 鼓形の系統中相、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 348 | 18 | 12 |
| 166 | 2.3 | 1.7 | - | 8.0 | 100 | その他の系統、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 352 | 18 | 13 |
| 167 | 2.8 | 1.6 | - | 8.5 | 100 | その他の系統内開弧第6段階以前対応、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 353 | 18 | 13 |
| 168 | 2.5 | 2.2 | - | 5.3 | 100 | その他の系統内開弧第8段階以後対応、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 354 | 18 | 13 |
| 169 | 2.4 | 1.4 | - | 5.2 | 100 | その他の系統内開弧第8段階以後対応、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 355 | 18 | 13 |
| 170 | 1.6 | 1.1 | - | 1.5 | 70 | その他の系統内開弧第11段階対応、晩期前葉 | 3 | e- 356 | 18 | - |

| | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-------|-----|------------------------------|---|--------|----|----|
| 171 | 1.7 | 1.8 | - | 4.6 | 100 | その他の系統、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 358 | 18 | 13 |
| 172 | 1.2 | 1.5 | - | 2.1 | 95 | その他の系統末期相、晩期前葉 | 3 | e- 359 | 18 | 13 |
| 173 | 4.4 | 1.9 | - | 42.0 | 90 | 放物線状断面系統主系列、後期末葉 | 3 | e- 364 | 18 | 13 |
| 174 | 3.8 | 1.4 | - | 21.8 | 90 | 放物線状断面系統主系列、後期末葉 | 3 | e- 365 | 18 | 13 |
| 175 | 2.9 | 1.2 | - | 11.2 | 100 | 放物線状断面系統主系列、後期末葉 | 3 | e- 368 | 19 | 13 |
| 176 | 2.4 | 1.0 | - | 7.8 | 100 | 放物線状断面系統主系列、後期末葉 | 3 | e- 369 | 19 | 13 |
| 177 | 4.6 | 1.7 | - | 34.3 | 90 | 放物線状断面系統主系列、後期末葉 | 3 | e- 370 | 19 | 13 |
| 178 | 2.1 | 0.9 | - | 4.9 | 100 | 放物線状断面系統主系列、後期末葉 | 3 | e- 372 | 19 | 13 |
| 179 | 2.6 | 1.3 | - | 9.1 | 100 | 放物線状断面系統傍系列、後期末葉 | 3 | e- 374 | 19 | 13 |
| 180 | 4.0 | 1.2 | - | 15.9 | 80 | 放物線状断面系統傍系列、後期末葉 | 3 | e- 375 | 19 | 13 |
| 181 | 2.6 | 1.1 | - | 5.7 | 80 | 放物線状断面系統傍系列、後期末葉 | 3 | e- 385 | 19 | - |
| 182 | 4.3 | 1.2 | - | 19.8 | 95 | 放物線状断面系統傍系列、後期末葉 | 3 | e- 387 | 19 | 13 |
| 183 | 2.9 | 1.6 | - | 15.9 | 100 | 無文白形で系統不明、背面浅い凹面、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 395 | 20 | 14 |
| 184 | 1.8 | 1.3 | - | 5.0 | 100 | 無文白形で系統不明、背面浅い凹面、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 398 | 20 | 14 |
| 185 | 1.9 | 1.7 | - | 8.3 | 100 | 無文白形で系統不明、背面浅い凹面、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 402 | 20 | - |
| 186 | 3.5 | 2.0 | - | 26.1 | 90 | 無文白形で系統不明、背面浅い凹面、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 415 | 20 | - |
| 187 | 2.9 | 2.0 | - | 19.2 | 95 | 無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 426 | 21 | - |
| 188 | 2.8 | 1.5 | - | 12.4 | 95 | 無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 427 | 21 | - |
| 189 | 2.4 | 1.6 | - | 10.7 | 100 | 無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 434 | 21 | - |
| 190 | 2.4 | 1.8 | - | 12.0 | 95 | 無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 438 | 21 | - |
| 191 | 3.0 | 1.8 | - | 19.6 | 100 | 無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 439 | 21 | - |
| 192 | 2.6 | 2.0 | - | 16.8 | 100 | 無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 444 | 21 | - |
| 193 | 3.0 | 2.1 | - | 22.1 | 95 | 無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 447 | 21 | - |
| 194 | 2.3 | 1.3 | - | 7.1 | 95 | 無文白形で系統不明、背面深い凹面、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 476 | 23 | - |
| 195 | 2.0 | 2.2 | - | 8.5 | 100 | 無文白形で系統不明、背面深い凹面、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 481 | 23 | 15 |
| 196 | 5.4 | 2.3 | - | 44.4 | 90 | 無文白形で系統不明、背面中空状凹面、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 499 | 24 | 15 |
| 197 | 6.6 | 2.5 | - | 101.0 | 100 | 無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 503 | 24 | 15 |
| 198 | 5.5 | 2.0 | - | 61.6 | 100 | 無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 505 | 24 | 15 |
| 199 | 1.2 | 1.4 | - | 2.3 | 100 | 無文白形で系統不明、著しく小・低、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 507 | 24 | - |
| 200 | 1.0 | 1.5 | - | 1.7 | 100 | 無文白形で系統不明、著しく小・低、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 509 | 24 | - |
| 201 | 1.1 | 1.4 | - | 2.2 | 95 | 無文白形で系統不明、著しく小・低、後期末葉～晩期前葉 | 3 | e- 525 | 25 | 15 |
| 202 | 7.4 | 2.3 | 1.6 | 30.6 | 50 | 貼瘤直線文系統主系列古2段階、後期末葉 | 3 | e- 617 | 26 | 16 |
| 203 | 8.6 | 2.1 | 1.0 | 15.3 | 25 | 貼瘤直線文系統主系列古3段階、後期末葉 | 3 | e- 644 | 28 | 16 |
| 204 | 2.5 | 1.8 | 0.5 | 5.3 | 55 | 貼瘤直線文系統単位文省略系列古3段階、後期末葉 | 3 | e- 684 | 30 | 16 |
| 205 | 7.0 | 2.1 | 0.6 | 7.5 | 20 | 貼瘤直線文系統区画点列文系列古1段階、後期末葉 | 3 | e- 688 | 31 | - |
| 206 | 4.4 | 1.9 | 0.6 | 6.0 | 25 | 貼瘤直線文系統区画点列文系列古3段階、後期末葉 | 3 | e- 709 | 32 | 17 |
| 207 | 2.4 | 1.7 | 0.4 | 7.1 | 95 | 貼瘤直線文系統区画点列文系列古2～3段階、後期末葉 | 3 | e- 712 | 32 | 17 |
| 208 | 1.7 | 1.6 | 0.6 | 5.4 | 100 | 貼瘤直線文系統充填要素系列古3段階、後期末葉 | 3 | e- 714 | 32 | 17 |
| 209 | 1.9 | 1.9 | 0.4 | 4.1 | 100 | 貼瘤直線文系統充填要素系列古3段階、後期末葉 | 3 | e- 722 | 33 | 17 |
| 210 | 1.7 | 1.2 | 0.3 | 2.7 | 100 | 貼瘤直線文系統充填要素系列古3段階、後期末葉 | 3 | e- 723 | 33 | 17 |
| 211 | 2.1 | 1.6 | 0.5 | 5.7 | 100 | 貼瘤直線文系統充填要素系列古3段階、後期末葉 | 3 | e- 724 | 33 | 17 |
| 212 | 1.9 | 1.7 | 0.4 | 4.7 | 100 | 貼瘤直線文系統充填要素系列古3段階、後期末葉 | 3 | e- 725 | 33 | 17 |
| 213 | 1.4 | 1.4 | 0.4 | 2.5 | 95 | 貼瘤直線文系統充填要素系列古3段階、後期末葉 | 3 | e- 726 | 33 | 17 |
| 214 | 5.0 | 2.1 | 0.6 | 8.1 | 30 | 貼瘤弧線文系統古2段階、後期末葉 | 3 | e- 727 | 33 | 17 |
| 215 | 8.0 | 2.4 | 0.9 | 18.0 | 25 | 貼瘤弧線文系統古3段階、後期末葉 | 3 | e- 728 | 33 | 17 |
| 216 | 8.4 | 2.3 | 1.2 | 26.9 | 45 | 貼瘤弧線文系統古4段階、後期末葉 | 3 | e- 738 | 33 | 17 |
| 217 | 4.7 | 2.1 | 0.6 | 15.9 | 65 | 貼瘤単位文系統古3段階、後期末葉 | 3 | e- 748 | 34 | 17 |
| 218 | 7.6 | 2.0 | 1.6 | 22.6 | 35 | 貼瘤単位文系統古4段階、後期末葉 | 3 | e- 757 | 35 | 18 |
| 219 | 2.3 | 2.1 | 0.7 | 9.4 | 100 | 無文・板状環形(板状I種)、後期末葉 | 3 | e- 769 | 36 | 18 |
| 220 | 2.6 | 1.8 | 0.4 | 5.8 | 90 | 無文・板状環形(板状I種)、後期末葉 | 3 | e- 778 | 36 | 18 |
| 221 | 4.4 | 2.0 | 0.4 | 16.0 | 100 | 無文・板状環形(板状I種)、後期末葉 | 3 | e- 784 | 36 | 18 |
| 222 | 4.0 | 2.9 | 0.4 | 17.6 | 100 | 無文・板状環形(板状I種)、後期末葉 | 3 | e- 785 | 36 | 18 |
| 223 | 3.7 | 1.7 | 0.5 | 10.8 | 80 | 無文・板状環形(板状I種)、後期末葉 | 3 | e- 793 | 37 | 18 |
| 224 | 4.6 | 2.5 | 0.6 | 30.0 | 100 | 無文・板状環形(板状I種)、後期末葉 | 3 | e- 799 | 37 | 18 |
| 225 | 4.6 | 2.3 | 0.5 | 19.9 | 100 | 無文・板状環形(板状I種)、後期末葉 | 3 | e- 821 | 38 | 18 |
| 226 | 3.6 | 1.8 | 0.8 | 17.6 | 95 | 巴玉抱三叉文系統主系列新1段階、晩期初頭 | 3 | e- 906 | 41 | 19 |
| 227 | 6.0 | 2.0 | 1.4 | 20.3 | 45 | 巴玉抱三叉文系統主系列新1段階、晩期初頭 | 3 | e- 913 | 42 | 19 |
| 228 | 6.4 | 2.3 | 0.6 | 12.1 | 40 | 巴玉抱三叉文系統主系列新2段階、晩期初頭 | 3 | e- 932 | 43 | 19 |
| 229 | 7.8 | 2.3 | 1.3 | 18.9 | 25 | 巴玉抱三叉文系統主系列新2段階、晩期初頭 | 3 | e- 937 | 43 | 19 |
| 230 | 6.0 | 0.8 | 2.4 | 20.7 | 60 | 巴玉抱三叉文系統主系列新3段階、晩期初頭 | 3 | e- 942 | 43 | 20 |
| 231 | 6.0 | 2.1 | 1.3 | 18.5 | 45 | 巴玉抱三叉文系統主系列新3段階、晩期初頭 | 3 | e- 945 | 44 | 20 |
| 232 | 4.1 | 1.6 | 0.9 | 16.7 | 95 | 巴玉抱三叉文系統主系列新3段階、晩期初頭 | 3 | e- 948 | 44 | 20 |
| 233 | 4.4 | 1.8 | 1.0 | 21.5 | 100 | 巴玉抱三叉文系統主系列新3段階、晩期初頭 | 3 | e- 954 | 44 | 20 |
| 234 | 5.8 | 2.0 | 0.8 | 28.1 | 90 | 巴玉抱三叉文系統主系列新4段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 968 | 45 | 20 |
| 235 | 4.8 | 2.0 | 0.9 | 23.9 | 95 | 巴玉抱三叉文系統主系列新4段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 969 | 45 | 20 |
| 236 | 5.5 | 2.0 | 0.8 | 29.6 | 100 | 巴玉抱三叉文系統主系列新6段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 971 | 45 | 21 |
| 237 | 6.4 | 2.3 | 1.0 | 13.5 | 35 | 巴玉抱三叉文系統主系列新6段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e- 973 | 45 | 21 |
| 238 | 9.2 | 2.2 | 1.0 | 66.3 | 90 | 連弧三叉文系統主系列新5段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1062 | 51 | 21 |
| 239 | 9.2 | 2.1 | 1.0 | 62.3 | 90 | 連弧三叉文系統主系列新5段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1063 | 51 | 21 |
| 240 | 8.4 | 2.3 | 0.9 | 15.7 | 20 | 連弧三叉文系統主系列新6段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1090 | 54 | 22 |

| | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----------------------------------|---|--------|-------|----|
| 241 | 6.2 | 2.4 | 0.8 | 15.0 | 35 | 連弧三叉文系統主系列新6段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1111 | 55 | 22 |
| 242 | 4.5 | 1.6 | 0.6 | 15.1 | 90 | 連弧三叉文系統主系列新8段階、晩期前葉 | 3 | e-1161 | 59 | 22 |
| 243 | 5.0 | 2.3 | 0.6 | 9.2 | 35 | 連弧三叉文系統主系列新9段階、晩期前葉 | 3 | e-1171 | 60 | 22 |
| 244 | 4.6 | 1.7 | 0.5 | 4.6 | 35 | 連弧三叉文系統主系列新10段階、晩期前葉 | 3 | e-1182 | 61 | 22 |
| 245 | 5.6 | 2.0 | 0.5 | 4.7 | 20 | 連弧三叉文系統主系列新11段階、晩期前葉 | 3 | e-1186 | 61 | 23 |
| 246 | 5.4 | 2.0 | 0.8 | 27.4 | 95 | 連弧三叉文系統傍系列D新9段階、晩期前葉 | 3 | e-1223 | 64 | 23 |
| 247 | 6.4 | 2.6 | 0.6 | 39.3 | 95 | 入組三叉文系統内開連弧系統新7段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1301 | 66 | 24 |
| 248 | 7.0 | 2.1 | 1.0 | 19.8 | 40 | 入組三叉文系統鉤状入組文斜行系列新7段階古相、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1306 | 66 | 24 |
| 249 | 6.6 | 2.1 | 1.1 | 11.0 | 25 | 入組三叉文系統雲形状系列新7段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1312 | 66 | 24 |
| 250 | 5.2 | 1.9 | 0.8 | 22.8 | 95 | 入組三叉文系統鉤状入組文並列系列新8段階、晩期前葉 | 3 | e-1325 | 67 | 24 |
| 251 | 1.8 | 1.1 | 0.4 | 2.7 | 90 | 入組三叉文系統鉤状入組文並列系列新10～11段階、晩期前葉 | 3 | e-1334 | 68 | 24 |
| 252 | 5.6 | 1.9 | 0.7 | 22.9 | 90 | 入組三叉文系統鉤状沈線対向系列新8～9段階、晩期前葉 | 3 | e-1335 | 68 | 24 |
| 253 | 5.4 | 1.9 | 0.5 | 17.7 | 95 | 入組三叉文系統鉤状沈線対向系列新8～9段階、晩期前葉 | 3 | e-1336 | 68 | 24 |
| 254 | 3.6 | 1.7 | 0.4 | 6.4 | 70 | 入組三叉文系統鉤状沈線対向系列新10段階？、晩期前葉 | 3 | e-1341 | 68 | 24 |
| 255 | 4.4 | 1.9 | 0.6 | 16.1 | 95 | 入組三叉文系統系列不明新8～9段階、晩期前葉 | 3 | e-1349 | 68 | 25 |
| 256 | 4.1 | 1.9 | 0.5 | 12.0 | 90 | 入組三叉文系統系列不明新8～9段階、晩期前葉 | 3 | e-1350 | 68 | 25 |
| 257 | 8.4 | 2.2 | 0.7 | 15.1 | 25 | 短線玉抱三叉文系統主系列新1段階、晩期初頭 | 3 | e-1394 | 71 | 25 |
| 258 | 7.6 | 2.0 | 0.8 | 15.0 | 35 | 短線玉抱三叉文系統主系列新2段階、晩期初頭 | 3 | e-1407 | 72 | 25 |
| 259 | 5.0 | 2.3 | 1.0 | 13.0 | 30 | 短線玉抱三叉文系統主系列新5段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1423 | 73 | 25 |
| 260 | 7.0 | 2.4 | 0.9 | 17.3 | 30 | 短線玉抱三叉文系統主系列新6段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1424 | 74 | 25 |
| 261 | 9.0 | 2.0 | 0.8 | 19.8 | 35 | 短線玉抱三叉文系統主系列新8段階、晩期前葉 | 3 | e-1429 | 74 | 25 |
| 262 | 4.4 | 1.9 | 0.6 | 18.2 | 100 | 鼻状三叉文系統古3段階、後期末葉 | 3 | e-1456 | 76 | 26 |
| 263 | 4.0 | 1.8 | 0.6 | 16.6 | 100 | 鼻状三叉文系統古3段階、後期末葉 | 3 | e-1457 | 76 | 26 |
| 264 | 4.9 | 1.9 | 0.6 | 21.9 | 90 | 鼻状三叉文系統新8段階？、晩期前葉 | 3 | e-1473 | 77 | 26 |
| 265 | 4.7 | 2.2 | 0.9 | 28.8 | 100 | 鼻状三叉文系統無文新段階、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1477 | 77 | 26 |
| 266 | 7.0 | 2.3 | 0.9 | 32.3 | 60 | 無文・内傾斜面環形(狭稜球Ⅱ種)古3～新3段階、後期末葉～晩期初頭 | 3 | e-1508 | 78 | 27 |
| 267 | 8.0 | 2.0 | 2.1 | 38.0 | 50 | 無文・内傾斜面環形(稜球Ⅴ種)、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1544 | 80 | 27 |
| 268 | 3.8 | 1.9 | 0.8 | 19.8 | 95 | 無文・内傾斜面環形(レヅ'状Ⅰ種)、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1556 | 81 | - |
| 269 | 4.4 | 2.0 | 0.5 | 15.9 | 95 | 無文・内傾斜面環形(レヅ'状Ⅱ種)、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1578 | 83 | - |
| 270 | 4.3 | 1.7 | 0.7 | 19.8 | 100 | 無文・内傾斜面環形(レヅ'状Ⅱ種)、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1584 | 83 | 27 |
| 271 | 4.7 | 2.0 | 0.6 | 22.1 | 100 | 無文・内傾斜面環形(レヅ'状Ⅱ種)、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1592 | 83 | 27 |
| 272 | 4.5 | 2.2 | 0.6 | 20.8 | 95 | 無文・内傾斜面環形(レヅ'状Ⅱ種)、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1593 | 84 | - |
| 273 | 2.5 | 1.8 | 0.6 | 7.1 | 90 | 無文・内傾斜面環形(レヅ'状Ⅱ種)、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1594 | 84 | - |
| 274 | 2.1 | 1.3 | 0.7 | 5.6 | 100 | 無文・内傾斜面環形(レヅ'状Ⅱ種)、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1596 | 84 | - |
| 275 | 3.1 | 1.8 | 0.5 | 10.6 | 100 | 無文・内傾斜面環形(レヅ'状Ⅲ種)、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1618 | 84 | - |
| 276 | 3.2 | 1.5 | 0.5 | 7.4 | 85 | 無文・内傾斜面環形(レヅ'状Ⅲ種)、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1619 | 84 | - |
| 277 | 4.7 | 2.1 | 0.5 | 16.7 | 90 | 無文・内傾斜面環形(レヅ'状Ⅲ種)、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1624 | 85 | 27 |
| 278 | 1.3 | 1.5 | 0.3 | 1.9 | 100 | 無文・内傾斜面環形(レヅ'状Ⅳ種)、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1634 | 85 | - |
| 279 | 9.4 | 2.0 | 1.0 | 32.1 | 40 | 無文・内傾斜面環形(三角環形)、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1660 | 86 | - |
| 280 | 1.1 | 1.1 | 0.3 | 1.1 | 100 | 無文・内傾斜面環形(著しく小・低)、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1671 | 87 | 27 |
| 281 | 1.2 | 1.2 | - | 1.6 | 100 | 無文・内傾斜面環形(著しく小・低)、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1672 | 87 | - |
| 282 | 1.4 | 1.1 | - | 2.1 | 100 | 無文・内傾斜面環形(著しく小・低)、晩期初頭～前葉 | 3 | e-1676 | 87 | 27 |
| 283 | 1.9 | 1.9 | - | 7.0 | 100 | 同心円文系統主系列第7段階a、晩期前葉 | 4 | e-4005 | (3)8 | |
| 284 | 1.9 | 1.8 | - | 5.3 | 95 | 同心円文系統主系列第7段階a、晩期前葉 | 4 | e-4006 | (3)8 | |
| 285 | 2.1 | 1.4 | - | 5.6 | 95 | 同心円文系統主系列第7段階a、晩期前葉 | 4 | e-4007 | (3)8 | |
| 286 | 1.1 | 1.5 | - | 1.8 | 95 | 同心円文系統主系列第7段階b、晩期前葉 | 4 | e-4009 | (3)8 | |
| 287 | 1.2 | 1.5 | - | 2.3 | 95 | 同心円文系統主系列第7段階b、晩期前葉 | 4 | e-4010 | (3)8 | |
| 288 | 2.4 | 1.6 | - | 8.3 | 90 | 同心円文系統主系列第8段階、晩期前葉 | 4 | e-4011 | (3)8 | |
| 289 | 4.7 | 1.9 | - | 18.1 | 90 | キリ界線系統主系列第5段階、晩期初頭 | 4 | e-4015 | (3)10 | |
| 290 | 3.4 | 1.4 | - | 13.8 | 90 | 鼓形の系統中相、後期末葉～晩期前葉 | 4 | e-4022 | - | |
| 291 | 6.4 | 2.1 | - | 51.4 | 70 | 鼓形の系統新相、後期末葉～晩期前葉 | 4 | e-4025 | (3)12 | |
| 292 | 4.9 | 1.4 | - | 40.8 | 95 | 放物線状断面系統主系列、後期末葉 | 4 | e-4026 | (3)13 | |
| 293 | 3.3 | 1.3 | - | 17.7 | 95 | 放物線状断面系統主系列、後期末葉 | 4 | e-4028 | (3)13 | |
| 294 | 3.9 | 1.5 | - | 25.0 | 95 | 放物線状断面系統主系列、後期末葉 | 4 | e-4029 | (3)13 | |
| 295 | 4.1 | 1.5 | - | 24.0 | 100 | 放物線状断面系統傍系列、後期末葉 | 4 | e-4033 | (3)13 | |
| 296 | 2.6 | 1.2 | - | 8.6 | 95 | 放物線状断面系統傍系列、後期末葉 | 4 | e-4034 | (3)13 | |
| 297 | 1.9 | 1.1 | - | 4.1 | 100 | 無文白形で系統不明、中心孔あり、著しく小・低、後期末葉～晩期前葉 | 4 | e-4046 | (3)14 | |
| 298 | 1.7 | 1.2 | - | 3.5 | 100 | 無文白形で系統不明、中心孔あり、著しく小・低、後期末葉～晩期初頭 | 4 | e-4047 | (3)14 | |
| 299 | 2.7 | 1.7 | - | 16.4 | 95 | 無文白形で系統不明、背面浅い凹面、後期末葉～晩期初頭 | 4 | e-4053 | (3)14 | |
| 300 | 2.8 | 1.6 | - | 14.2 | 100 | 無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期初頭 | 4 | e-4058 | - | |
| 301 | 2.0 | 1.3 | - | 6.3 | 95 | 無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期初頭 | 4 | e-4064 | - | |
| 302 | 2.0 | 1.4 | - | 6.9 | 100 | 無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期初頭 | 4 | e-4065 | - | |
| 303 | 3.6 | 1.9 | - | 30.6 | 90 | 無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期初頭 | 4 | e-4079 | - | |
| 304 | 4.6 | 2.4 | - | 49.6 | 90 | 無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期初頭 | 4 | e-4086 | - | |
| 305 | 5.5 | 2.2 | - | 56.8 | 80 | 無文白形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期初頭 | 4 | e-4088 | - | |
| 306 | 2.0 | 1.5 | - | 6.2 | 95 | 無文白形で系統不明、背面深い凹面、後期末葉～晩期初頭 | 4 | e-4091 | - | |
| 307 | 2.7 | 1.7 | - | 12.6 | 95 | 無文白形で系統不明、背面深い凹面、後期末葉～晩期初頭 | 4 | e-4092 | - | |
| 308 | 4.0 | 1.8 | - | 23.3 | 80 | 無文白形で系統不明、背面深い凹面、後期末葉～晩期初頭 | 4 | e-4094 | - | |
| 309 | 3.9 | 1.9 | - | 25.5 | 100 | 無文白形で系統不明、背面深い凹面、後期末葉～晩期初頭 | 4 | e-4096 | - | |

| | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|------|-----|------------------------------|---|--------|-------|
| 310 | 4.2 | 1.8 | - | 32.4 | 90 | 無文臼形で系統不明、背面やや深い凹面、後期末葉～晩期初頭 | 4 | e-4102 | (3)15 |
| 311 | 1.0 | 0.8 | - | 1.0 | 100 | 無文臼形で系統不明、著しく小・低、後期末葉～晩期初頭 | 4 | e-4105 | (3)15 |
| 312 | 1.4 | 1.6 | - | 3.6 | 100 | 無文臼形で系統不明、著しく小・低、後期末葉～晩期初頭 | 4 | e-4106 | - |
| 313 | 6.6 | 2.0 | - | 11.1 | 25 | 貼瘤直線文系統主系列古3段階、後期末葉 | 4 | e-4125 | (3)16 |
| 314 | 5.0 | 2.1 | 0.5 | 18.0 | 85 | 貼瘤直線文系統充填省略系列古2段階、後期末葉 | 4 | e-4127 | (3)16 |
| 315 | 7.4 | 1.9 | 0.5 | 14.3 | 45 | 貼瘤直線文系統区画点列文系列古2段階古相、後期末葉 | 4 | e-4132 | (3)17 |
| 316 | 3.2 | 2.0 | 0.8 | 18.2 | 95 | 貼瘤単位文系統古3段階、後期末葉 | 4 | e-4137 | (3)17 |
| 317 | 6.2 | 2.1 | 0.5 | 18.3 | 60 | 無文・板状環形(板状I種)、後期末葉 | 4 | e-4151 | (3)18 |
| 318 | 6.4 | 2.1 | 0.9 | 23.9 | 60 | 巴玉抱三叉文系統主系列新1段階、晩期初頭 | 4 | e-4152 | (3)19 |
| 319 | 8.4 | 2.0 | 0.7 | 17.4 | 35 | 巴玉抱三叉文系統主系列新1段階、晩期初頭 | 4 | e-4153 | (3)19 |
| 320 | 5.4 | 2.2 | 0.6 | 17.6 | 60 | 巴玉抱三叉文系統主系列新2段階、晩期初頭 | 4 | e-4154 | (3)19 |
| 321 | 7.8 | 2.4 | 1.0 | 25.8 | 45 | 巴玉抱三叉文系統主系列新2段階、晩期初頭 | 4 | e-4155 | (3)19 |
| 322 | 5.2 | 1.9 | 0.8 | 26.2 | 100 | 巴玉抱三叉文系統主系列新2段階、晩期初頭 | 4 | e-4157 | (3)19 |
| 323 | 6.7 | 2.1 | 0.7 | 26.6 | 65 | 巴玉抱三叉文系統主系列新3段階、晩期初頭 | 4 | e-4159 | (3)20 |
| 324 | 6.4 | 2.1 | 1.2 | 48.7 | 95 | 巴玉抱三叉文系統主系列新3段階、晩期初頭 | 4 | e-4161 | (3)20 |
| 325 | 5.2 | 1.8 | 1.1 | 32.5 | 95 | 巴玉抱三叉文系統主系列新3段階、晩期初頭 | 4 | e-4162 | (3)20 |
| 326 | 5.0 | 1.6 | 1.1 | 17.1 | 80 | 巴玉抱三叉文系統主系列新4段階、晩期初頭～前葉 | 4 | e-4164 | (3)20 |
| 327 | 4.4 | 1.6 | 0.8 | 12.0 | 70 | 巴玉抱三叉文系統主系列新4段階、晩期初頭～前葉 | 4 | e-4165 | (3)20 |
| 328 | 5.1 | 2.1 | 0.7 | 19.1 | 70 | 連弧三叉文系統主系列新5段階、晩期初頭～前葉 | 4 | e-4171 | (3)22 |
| 329 | 7.6 | 1.9 | 0.9 | 20.1 | 45 | 連弧三叉文系統主系列新6段階、晩期初頭～前葉 | 4 | e-4172 | (3)22 |
| 330 | 5.1 | 2.2 | 0.9 | 34.5 | 95 | 連弧三叉文系統主系列新7段階古相、晩期初頭～前葉 | 4 | e-4175 | (3)22 |
| 331 | 6.0 | 2.0 | 0.4 | 8.9 | 40 | 連弧三叉文系統主系列新10段階、晩期前葉 | 4 | e-4180 | (3)22 |
| 332 | 6.4 | 2.1 | 0.7 | 20.4 | 50 | 連弧三叉文系統傍系列C新7段階、晩期初頭～前葉 | 4 | e-4188 | (3)23 |
| 333 | 4.7 | 2.0 | 0.7 | 11.5 | 45 | 連弧三叉文系統傍系列D新9段階、晩期前葉 | 4 | e-4189 | (3)23 |
| 334 | 7.4 | 1.9 | 0.9 | 17.0 | 45 | 入組三叉文系統内開連弧系列新7段階、晩期初頭～前葉 | 4 | e-4198 | (3)24 |
| 335 | 5.4 | 1.7 | 0.9 | 15.3 | 75 | 入組三叉文系統系列不明新8～9段階、晩期前葉 | 4 | e-4203 | (3)25 |
| 336 | 8.0 | 2.2 | 1.1 | 26.4 | 35 | 短線玉抱三叉文系統主系列新3～4段階、晩期初頭～前葉 | 4 | e-4206 | (3)25 |
| 337 | 7.3 | 2.3 | 1.3 | 37.6 | 60 | 短線玉抱三叉文系統傍系列A新5段階、晩期初頭～前葉 | 4 | e-4213 | (3)26 |
| 338 | 7.0 | 2.0 | 0.7 | 19.8 | 50 | 対連弧三叉文系統新3段階以降、晩期初頭 | 4 | e-4215 | (3)26 |
| 339 | 3.9 | 1.8 | 0.5 | 11.9 | 90 | 鼻状三叉文系統新9段階、晩期前葉 | 4 | e-4218 | (3)26 |
| 340 | 2.9 | 1.7 | 0.7 | 10.2 | 95 | 無文・内傾斜面環形(稜球III種)、晩期初頭～前葉 | 4 | e-4221 | - |
| 341 | 3.7 | 1.9 | 0.8 | 10.9 | 65 | 無文・内傾斜面環形(稜球III種)、晩期初頭～前葉 | 4 | e-4222 | - |
| 342 | 8.4 | 2.0 | 0.7 | 54.3 | 90 | 無文・内傾斜面環形(レンズ状I種)、晩期初頭～前葉 | 4 | e-4226 | (3)27 |
| 343 | 7.5 | 1.8 | 1.1 | 30.4 | 45 | 無文・内傾斜面環形(レンズ状I種)、晩期初頭～前葉 | 4 | e-4227 | - |
| 344 | 7.1 | 2.2 | 0.6 | 37.1 | 85 | 無文・内傾斜面環形(レンズ状II種)、晩期初頭～前葉 | 4 | e-4233 | (3)27 |
| 345 | 7.7 | 2.7 | 0.6 | 50.6 | 90 | 無文・内傾斜面環形(レンズ状II種)、晩期初頭～前葉 | 4 | e-4234 | - |
| 346 | 4.5 | 1.7 | 0.5 | 14.4 | 90 | 無文・内傾斜面環形(レンズ状II種)、晩期初頭～前葉 | 4 | e-4235 | - |
| 347 | 4.0 | 1.9 | 0.6 | 7.4 | 65 | 無文・内傾斜面環形(レンズ状III種)、晩期初頭～前葉 | 4 | e-4239 | - |
| 348 | 8.7 | 2.3 | 0.9 | 53.6 | 70 | 無文・内傾斜面環形(三角環形)、晩期初頭～前葉 | 4 | e-4245 | (3)27 |

(2) 土偶、土版・中空動物形土製品、その他の土製品

77点

| 番号 | 量目 (cm・g) | | | | 遺存率 (%) | 品質形状等 | 報告番号 | | 報告書頁 | |
|-----|-----------|-----|-----|-------|---------|---|------|-------|------|----|
| | 長さ | 幅 | 高さ | 重量 | | | 分冊 | No | 図版 | 写真 |
| 349 | 8.9 | 7.6 | 3.8 | 149.6 | - | 東北系山形土偶の上半身、頭頂部は低い山形、平坦な顔面、短線の眼、点刻の口、頭部・右胸部・左胸部を分割成形、後期後葉 | 3 | d-100 | 110 | 31 |
| 350 | 5.7 | 7.4 | 3.4 | 97.4 | - | 山形土偶頭部A類、頭頂部低い山形、貼付表現の眼、深く抉る口、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式) | 3 | d-103 | 110 | 32 |
| 351 | 6.2 | 9.3 | 2.5 | 89.5 | - | 山形土偶頭部A類、頭頂部低い山形、貼付表現の眼・口、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式) | 3 | d-105 | 110 | 32 |
| 352 | 5.2 | 7.8 | 2.8 | 80.9 | - | 山形土偶頭部B1類、頭頂部低い山形、頭部貫通の受口、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式) | 3 | d-108 | 111 | 32 |
| 353 | 6.3 | 5.2 | 2.8 | 53.6 | - | 山形土偶頭部B2類、頭頂部低い山形、沈線表現の眼、深く抉る受口、臍状頭部で左右胸部と分割成形、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式) | 3 | d-112 | 111 | 32 |
| 354 | 4.1 | 4.8 | 2.7 | 20.8 | - | 山形土偶頭部B2類、頭頂部低い山形、沈線表現の眼、頭部貫通の受口、胸部と分割成形、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式) | 3 | d-114 | 112 | 32 |
| 355 | 5.5 | 5.2 | 2.2 | 37.6 | - | 山形土偶頭部B3類、頭頂部低い山形、深く抉る受口、胸部と分割成形、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式) | 3 | d-117 | 112 | 33 |
| 356 | 5.6 | 6.7 | 2.2 | 66.2 | - | 山形土偶頭部B3類、頭頂部低い山形、沈線表現の眼、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式) | 3 | d-119 | 112 | 33 |
| 357 | 4.7 | 5.1 | 2.2 | 38.0 | - | 山形土偶頭部B3類、頭頂部低い山形、沈線表現の眼、点刻の受口、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式) | 3 | d-121 | 113 | 33 |
| 358 | 5.6 | 6.6 | 3.0 | 70.9 | - | 山形土偶頭部B3類、頭頂部低い山形、深い口、頭部に短い腕が接続、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式) | 3 | d-123 | 113 | 33 |
| 359 | 4.2 | 3.0 | 1.4 | 12.8 | - | 山形土偶頭部B1類対応の胸部～腰部、頭部・胸部分割成形、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式) | 3 | d-129 | 114 | 33 |
| 360 | 9.0 | 3.2 | 2.7 | 46.6 | - | 山形土偶頭部B2類対応の左肩部～脚部、口に繋がる縦貫孔、右胸部・左胸部分割成形、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式) | 3 | d-130 | 114 | 31 |
| 361 | 12.6 | 7.4 | 3.9 | 208.6 | - | 山形土偶頭部B3類対応の肩部～脚部、胴上部に深い受口、右肩脚部・左肩脚部・臍状頭部分割成形、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式) | 3 | d-133 | 114 | 31 |
| 362 | 10.0 | 4.7 | 2.4 | 61.1 | - | 山形土偶頭部B3類対応の右肩部～脚部、右肩脚部・左肩脚部・臍状頭部分割成形 | 3 | d-134 | 115 | 34 |
| 363 | 9.3 | 6.3 | 3.4 | 132.7 | - | 山形土偶頭部B3類対応の腰部II類、口に繋がる縦貫孔、後期後葉(上野編年IV段階・上ノ段3～4式) | 3 | d-160 | 119 | 34 |
| 364 | 3.9 | 4.0 | 3.0 | 33.2 | - | ポスト山形系土偶古段階、山形土偶頭部B3類を継承する頭部、顔面を囲む輪郭隆帯、後頭部突起状隆帯、後期末葉(中ノ沢式) | 3 | d-214 | 124 | 36 |

| | | | | | | | | | | |
|-----|------|------|-----|-------|---|--|---|-------|-----|----|
| 365 | 4.0 | 3.5 | 2.2 | 24.4 | - | ポスト山形系土偶古段階、山形土偶頭部B3類を継承する頭部、顔面を囲む輪郭隆帯、頭頂部横断貫通孔、後期末葉(中ノ沢K式) | 3 | d-215 | 124 | 36 |
| 366 | 7.2 | 7.8 | 2.7 | 101.9 | - | ポスト山形系土偶古段階、頭部B3類対応の頭部～胴部、肩部丸瘤、頭部分割成形、後期末葉(中ノ沢K式) | 3 | d-217 | 124 | 36 |
| 367 | 11.5 | 3.6 | 2.9 | 92.3 | - | ポスト山形系土偶古段階、腰部I類対応の右下胴部～脚部、踵表現、右胴脚部・左胴脚部分割成形、後期末葉(中ノ沢K式) | 3 | d-220 | 125 | 36 |
| 368 | 10.6 | 4.5 | 4.0 | 134.8 | - | ポスト山形系土偶古段階、腰部II類対応の右下胴部～脚部、短線付隆帯表現の膝、踵表現、後期末葉(中ノ沢K式) | 3 | d-224 | 125 | 36 |
| 369 | 3.3 | 5.5 | 1.3 | 17.1 | - | ポスト山形系土偶新段階、上胴部～肩部、腹面・背面に三叉陰刻、頭部分割成形、晩期前葉 | 3 | d-251 | 129 | 37 |
| 370 | 7.7 | 3.2 | 2.9 | 63.9 | - | ポスト山形系土偶新段階、右肩胴部、背面三叉陰刻、右肩胴部・左肩胴部分割成形、晩期前葉 | 3 | d-252 | 129 | 37 |
| 371 | 5.7 | 7.6 | 2.3 | 104.8 | - | ポスト山形系土偶新段階、異系統の腰部、腹面・背面三叉陰刻、晩期前葉 | 3 | d-258 | 129 | 37 |
| 372 | 11.2 | 6.4 | 2.7 | 96.7 | - | 顔面付分銅形土偶、第1段階の全身、頭部表現、沈線表現の眼、縦貫通孔付受口、成立期・初源を示す、後期後葉～末葉 | 3 | d-285 | 133 | 38 |
| 373 | 5.6 | 5.6 | 2.1 | 54.4 | - | 顔面付分銅形土偶、背反系列第2段階の上半身、点刻の口、後期後葉～末葉 | 3 | d-287 | 133 | 39 |
| 374 | 7.5 | 4.9 | 2.2 | 68.6 | - | 顔面付分銅形土偶、平坦系列第2段階の全身、口からの貫通孔、眉の隆帯上に縦貫沈線、後期後葉～末葉 | 3 | d-289 | 134 | 39 |
| 375 | 5.9 | 6.8 | 3.3 | 96.6 | - | 顔面付分銅形土偶、平坦系列第2段階の下半身、口に繋がる貫通孔、隆帯の臀部表現、後期後葉～末葉 | 3 | d-292 | 134 | 39 |
| 376 | 6.3 | 5.1 | 2.3 | 53.6 | - | 顔面付分銅形土偶、背反系列第3段階の上半身、点刻の口、頭頂に圧痕、後期後葉～末葉 | 3 | d-299 | 135 | 39 |
| 377 | 5.8 | 5.1 | 1.6 | 31.9 | - | 顔面付分銅形土偶、背反系列第3段階の上半身、沈線表現の眼、点刻の口、後期後葉～末葉 | 3 | d-300 | 135 | 39 |
| 378 | 7.9 | 4.0 | 1.9 | 58.5 | - | 顔面付分銅形土偶、平坦系列第4段階の全身、装飾喪失、口からの貫通孔、後期後葉～末葉 | 3 | d-307 | 136 | 39 |
| 379 | 8.4 | 3.7 | 2.1 | 58.5 | - | 顔面付分銅形土偶、平坦系列第4段階の全身、眼鼻と装飾喪失、深く抉る口のみ表現、末期相で終焉を示す、後期後葉～末葉 | 3 | d-309 | 136 | 39 |
| 380 | 8.7 | 9.5 | 8.6 | 186.7 | - | 遮光器系土偶頭部、中空で橋状把手と頭部一体化、二重の顔面表現、線描で遮光器状の眼をもつ第1の顔面、その額相当部に眉・鼻を貼付した第2の顔面、晩期中葉 | 3 | d-313 | 137 | 40 |
| 381 | 6.7 | 14.5 | 3.9 | 198.1 | - | 遮光器系土偶上胴部～腕部、板状の腹面と背面を頸部・体側部で接合させた中空胴部、頭部接合面に口からの貫通孔縦貫、晩期中葉 | 3 | d-322 | 139 | 40 |
| 382 | 5.1 | 5.1 | 1.4 | 34.1 | - | 中空動物形土製品と関わる土偶上胴部、中空動物形土製品の前後と土偶の乳房並存、欠損する下半身が脚なら土偶で鱗なら中空動物形土製品、晩期中葉 | 3 | d-344 | 142 | 41 |
| 383 | 15.3 | 8.7 | 2.3 | 338.5 | - | 人面付土版全身、ハート形隆帯で眉・鼻表現、眼は沈線、顎は沈線、乳房貼付、性器表現、背面は入組文を挟む対向三叉文、破断して二分割・土坑へ一括埋納、晩期前葉 | 3 | c- 1 | 158 | 45 |
| 384 | 5.1 | 5.0 | 1.8 | 37.2 | - | 人面付土版人面部右半分、平面小判形、小ぶりで弧状隆帯の眉・鼻、沈線の眼、背面に線描三叉文、縄文なし、c-1に後続 | 3 | c- 2 | 158 | 45 |
| 385 | 5.0 | 8.3 | 2.3 | 69.4 | - | 人面付土版人面部上半分、弧状隆帯の眉・鼻、沈線の眼、正面・背面無文で縄文なし、c-1に後続 | 3 | c- 4 | 158 | 45 |
| 386 | 11.4 | 8.3 | 3.1 | 184.1 | - | 中空動物形土製品胴部、頭部中空・胴部中空、人面付土版c-1の背面装飾を腹面に継承、性器表現も継承、貫通孔縦貫、頭部と前肢分割成形、c-1の直後で晩期前葉 | 3 | c-14 | 159 | 46 |
| 387 | 5.4 | 4.6 | 2.5 | 31.3 | - | 中空動物形土製品腹面下半分、胴部中空、腹面側に曲がる尾部、尾部付近に貫通孔、乳房表現、全身無文、腹面・背面を接合させる分割成形、晩期前葉以降 | 3 | c-15 | 160 | 46 |
| 388 | 7.1 | 6.0 | 1.4 | 50.1 | - | 手燭形土製品、平たい把手タイプの把手部、中ノ沢K式土器と共通の端部に縦貫沈線付隆帯貼付 | 3 | c- 24 | 162 | 47 |
| 389 | 10.2 | 4.9 | 1.8 | 102.9 | - | 手燭形土製品、平たい把手タイプの把手部、正面に三叉陰刻、c-24に後続、晩期初頭以降 | 3 | c- 25 | 162 | 47 |
| 390 | 7.2 | 6.0 | 1.6 | 62.7 | - | 手燭形土製品、平たい把手タイプの把手部、三叉状の透孔、端部の突起は晩期前葉の土器に類似、c-25に後続 | 3 | c- 26 | 162 | 47 |
| 391 | 6.0 | 3.8 | 1.7 | 41.8 | - | 手燭形土製品、平たい把手タイプの把手部、人面表現を意識した貫通孔以外は無文 | 3 | c- 30 | 162 | 47 |
| 392 | 7.7 | 3.5 | 2.6 | 74.4 | - | 手燭形土製品、丸い把手タイプの把手部、把先端の反り返り顕著、正面・背面に三叉文、晩期初頭～前葉 | 3 | c- 36 | 163 | 47 |
| 393 | 4.7 | 3.6 | - | 45.6 | - | スタンプ形の土製品、頭部に土製耳飾類の同心円文、同心円文系統の土製耳飾第6段階以前に対応、後期末葉～晩期初頭 | 3 | c- 50 | 164 | 48 |
| 394 | 2.4 | 2.3 | - | 5.4 | - | スタンプ形の土製品、頭部に土製耳飾類の同心円文、同心円文系統の土製耳飾第6段階以前に対応、後期末葉～晩期初頭 | 3 | c- 51 | 164 | 48 |
| 395 | 3.3 | 3.4 | - | 24.4 | - | スタンプ形の土製品、頭部に三叉文・弧線文、晩期初頭以降 | 3 | c- 52 | 164 | 48 |
| 396 | 4.0 | 3.1 | - | 18.9 | - | スタンプ形の土製品、頭部に三叉文・弧線文、晩期初頭以降 | 3 | c- 53 | 164 | 48 |
| 397 | 5.0 | 4.5 | - | 77.1 | - | スタンプ形の土製品、頭部～基部、頭部に三叉文等、晩期初頭以降 | 3 | c- 54 | 164 | 48 |
| 398 | 2.9 | 2.8 | - | 11.9 | - | スタンプ形の土製品、完形品、頭部にランダムな刺突文、後期末葉～晩期 | 3 | c- 55 | 164 | 48 |
| 399 | 4.0 | 2.9 | - | 17.9 | - | スタンプ形の土製品、完形品、頭部無文、後期末葉～晩期 | 3 | c- 56 | 164 | 48 |

| | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|---|-------|---|--|---|-------|-----|----|
| 400 | 1.9 | 3.4 | - | 13.7 | - | スタンプ形の土製品、頭部～基部、頭部無文、基部は短い、石英が顕著な佐野式土器類似胎土、晩期前葉～中葉 | 3 | c- 57 | 164 | 48 |
| 401 | 2.2 | 1.4 | - | 3.4 | - | 葎形の土製品、ごく小形、土製耳飾に含める見解あり、耳飾に関わるなら後期末葉～前葉 | 3 | c- 58 | 165 | 48 |
| 402 | 2.4 | 1.5 | - | 4.2 | - | 葎形の土製品、ごく小形、土製耳飾に含める見解あり、耳飾に関わるなら後期末葉～前葉 | 3 | c- 60 | 165 | 48 |
| 403 | 2.2 | 1.2 | - | 5.0 | - | 玉状の土製品、丸玉形、後期～晩期 | 3 | c- 71 | 165 | 48 |
| 404 | 0.9 | 0.9 | - | 0.8 | - | 玉状の土製品、丸玉形、後期～晩期 | 3 | c- 72 | 165 | 48 |
| 405 | 2.6 | 2.0 | - | 2.9 | - | 玉状の土製品、勾玉形、後期～晩期 | 3 | c- 73 | 165 | 48 |
| 406 | 2.0 | 1.5 | - | 2.7 | - | 玉状の土製品、勾玉形、後期～晩期 | 3 | c- 74 | 165 | 48 |
| 407 | 3.4 | 2.0 | - | 6.1 | - | 玉状の土製品、勾玉形、後期～晩期 | 3 | c- 75 | 165 | 48 |
| 408 | 4.8 | 2.3 | - | 19.4 | - | 二孔付の柱状土製品、円筒形、円柱曲面に1対の貫通孔、三叉形の透孔、晩期初頭～前葉 | 3 | c- 76 | 165 | 48 |
| 409 | 5.8 | 1.9 | - | 16.7 | - | 二孔付の柱状土製品、円柱形、両端に貫通孔、後期～晩期 | 3 | c- 77 | 165 | 48 |
| 410 | 1.3 | 3.6 | - | 14.7 | - | ボタン状あるいは円形土製品、円柱側面に1対の貫通孔、正面に三叉陰刻施文、晩期初頭 | 3 | c- 78 | 165 | 48 |
| 411 | 0.9 | 2.6 | - | 5.4 | - | ボタン状あるいは円形土製品、円柱側面に1対の貫通孔、正面・背面に不規則構図施文、後期～晩期 | 3 | c- 79 | 165 | 48 |
| 412 | 0.5 | 2.4 | - | 3.0 | - | ボタン状あるいは円形土製品、円柱側面の貫通孔なし、正面・背面に不規則構図施文、後期～晩期 | 3 | c- 80 | 165 | 48 |
| 413 | 3.6 | 1.6 | - | 7.1 | - | 管状の土製品、円柱曲面に縄文施文、後期～晩期 | 3 | c- 81 | 166 | 48 |
| 414 | 3.4 | 1.4 | - | 4.6 | - | 管状の土製品、円柱曲面に縄文施文と赤彩、後期～晩期 | 3 | c- 82 | 166 | 48 |
| 415 | 6.3 | 5.4 | - | 52.8 | - | ミニチュアあるいは小形土器、肩部に細隆帯が巡る大洞C1式壺形土器、内面に顔料付着、赤色顔料収納容器 | 3 | c-126 | 168 | 50 |
| 416 | 1.4 | 3.3 | - | 9.0 | - | ミニチュア土器、椀形、佐野式前後の在地系ミニチュア土器共通相、晩期中葉前後 | 3 | c-157 | 169 | - |
| 417 | 2.4 | 3.8 | - | 20.6 | - | ミニチュア土器、椀形、佐野式前後の在地系ミニチュア土器共通相、晩期中葉前後 | 3 | c-159 | 169 | - |
| 418 | 3.9 | 4.6 | - | 66.8 | - | ミニチュア土器、深い椀形、佐野式前後の在地系ミニチュア土器共通相、晩期中葉前後 | 3 | c-162 | 169 | 51 |
| 419 | 3.9 | 3.4 | - | 40.1 | - | ミニチュア土器、深い椀形、佐野式前後の在地系ミニチュア土器共通相、晩期中葉前後 | 3 | c-164 | 169 | 50 |
| 420 | 4.0 | 4.7 | - | 48.8 | - | ミニチュア土器、深鉢形、佐野式前後の在地系ミニチュア土器共通相、晩期中葉前後 | 3 | c-165 | 169 | 50 |
| 421 | 3.3 | 2.7 | - | 27.0 | - | ミニチュア土器、深鉢形、佐野式前後の在地系ミニチュア土器共通相、晩期中葉前後 | 3 | c-167 | 169 | - |
| 422 | 5.3 | 5.4 | - | 52.8 | - | ミニチュア土器、無頸壺形で口端部に孔列 | 3 | c-190 | 170 | - |
| 423 | 7.0 | 5.4 | - | 189.3 | - | 有孔球状土製品、紡錘形～球形の中間形、石英が顕著な佐野式土器類似胎土、佐野式共伴 | 3 | c-203 | 170 | 51 |
| 424 | 8.1 | 6.1 | - | 259.1 | - | 有孔球状土製品、紡錘形～球形の中間形、羽状沈線文施文、後期中葉～後葉 | 3 | c-212 | 171 | 51 |
| 425 | 5.8 | 6.5 | - | 214.1 | - | 有孔球状土製品、下膨形、無文、晩期 | 3 | c-214 | 171 | 51 |

(3) 土器

49点

| 番号 | 法量 (cm・g) | | | | 遺存率 (%) | 品質形状等 | 報告番号 | | 報告書頁 | |
|-----|-----------|--------|-------|--------|---------|---|------|---------|------|-------|
| | 最大径 | | 器高 | 重量 | | | 分冊 | No | 図版 | 写真 |
| | 長径 | 短径 | | | | | | | | |
| 426 | 19.4 | | 5.2 | 220.0 | 70 | 浅鉢形土器、外反口縁で丸底、口唇部に丸瘤付加のB突起、佐野1式 | 1 | J13-1 | 71 | 41 |
| 427 | 30.4 | | 29.7 | 2120.0 | 90 | 深鉢形土器、つの字文鉢の深鉢、直線横帯文と横長瘤単位文、上ノ段3式 | 1 | J17-1 | 87 | 43 |
| 428 | 41.6 | | 20.5 | 3180.0 | 90 | 浅鉢形土器、つの字文鉢、「つ」系横帯文で単位文なし、上ノ段2式 | 1 | J17-4 | 87 | 43 |
| 429 | 44.8 | | 24.2 | 3650.0 | 90 | 浅鉢形土器、つの字文鉢、「つ」系横帯文と磨消縄文系突起第4段階の単位文、上ノ段2式 | 1 | J17-5 | 87 | 43 |
| 430 | 10.6 | | 4.8 | 180.0 | 50 | 釣手形土器の身部、4窓式、後期中葉～後葉 | 1 | J17-34 | 89 | 42 |
| 431 | 5.0 | | 1.7 | 10.0 | 90 | 蓋形土器、つまみ部欠損、連鎖しない入組文、後期末葉～晩期初頭 | 1 | J17-135 | 92 | - |
| 432 | 29.7 | | 29.0 | 2300.0 | 70 | 深鉢形土器、無文粗製、外面広汎なケズリ、佐野式共伴 | 1 | U5-1 | 187 | 50 |
| 433 | 32.2 | | 36.3 | 3420.0 | 80 | 深鉢形土器、外反口縁、口縁部入組三叉文、肩部クランク構図、佐野2a式 | 2 | S2-1 | 4 | 13 |
| 434 | 14.9 | | 11.8 | 570.0 | 80 | 浅鉢形土器、外反口縁で丸底、肩部花卉状雲形文、佐野2式 | 2 | S2-G59 | 6 | 13 |
| 435 | (26.4) | (22.8) | (8.8) | 750.0 | 60 | 浅鉢形土器、平面楕円形、丸底、花卉状雲形文、佐野2式 | 2 | S2-G60 | 6 | 13 |
| 436 | 18.4 | 15.5 | 7.0 | 380.0 | 100 | 浅鉢形土器、平面楕円形、丸底、花卉状雲形文、佐野2式 | 2 | S2-G61 | 7 | (4)20 |
| 437 | 12.5 | | 10.7 | 320.0 | 80 | 浅鉢形土器、外反口縁で丸底、肩部入組三叉文、佐野1式 | 2 | Wa-5 | 10 | 14 |
| 438 | 17.9 | | 6.3 | 440.0 | 90 | 浅鉢形土器、丸底、無文、口唇小突起の裾に切り込み、佐野式 | 2 | Wa-17 | 10 | - |
| 439 | 19.6 | 16.3 | 6.9 | 350.0 | 90 | 浅鉢形土器、平面楕円形、丸底、口縁部花卉状雲形文、底面スベード状構図、佐野1式 | 2 | Wb-18 | 12 | 15 |
| 440 | 16.5 | | 7.4 | 380.0 | 70 | 浅鉢形土器、丸底、無文、口唇小突起の裾に切り込み、佐野式 | 2 | Wf-52 | 19 | 18 |
| 441 | 9.5 | | 8.0 | 200.0 | 70 | 浅鉢形土器、外反口縁で丸底、肩部縄文帯、内面沈線、佐野式 | 2 | Wg-11 | 22 | 18 |
| 442 | 15.1 | | 9.6 | 520.0 | 70 | 浅鉢形土器、外反口縁で丸底、肩部花卉状雲形文、佐野2式 | 2 | Wg-32 | 22 | 18 |
| 443 | 19.5 | | 4.8 | 300.0 | 70 | 浅鉢形土器、平底、入組三叉文、口唇小突起の裾に切り込み、佐野2式 | 2 | Wi-10 | 25 | 18 |
| 444 | 8.8 | | 12.1 | 280.0 | 100 | 壺形土器、外反口縁で丸底、肩部花卉状雲形文、佐野1b～2式 | 2 | Wi-21 | 25 | (4)20 |

| | | | | | | | | | | |
|-----|--------|--------|--------|--------|-----|--|---|---------|-----|----|
| 445 | | 23.0 | 21.5 | 1500.0 | 90 | 深鉢形土器、平縁隆帯文深鉢第5段階古相、晩期初頭 | 2 | D144-7 | 53 | 20 |
| 446 | | 10.6 | 9.5 | 340.0 | 100 | 浅鉢形土器、外反口縁で丸底、無文で突起なし、晩期初頭～中葉 | 2 | D200-G3 | 59 | 22 |
| 447 | 16.6 | 13.1 | 9.8 | 310.0 | 70 | 浅鉢形土器、平面楕円形、外反口縁で丸底、底面スベード状構図、佐野2式 | 2 | D384-20 | 83 | 23 |
| 448 | | 7.6 | 7.7 | 130.0 | 90 | 壺形土器、外反口縁で平底、肩部沈線帯、大洞C1式 | 4 | N1-16 | 74 | 18 |
| 449 | | 21.8 | 10.5 | 670.0 | 70 | 浅鉢形土器、体部無文で台付、高台部三叉状透孔、晩期前葉 | 4 | Ea-56 | 3 | 1 |
| 450 | | 11.7 | 8.5 | 290.0 | 100 | 浅鉢形土器、外反口縁で丸底、無文、佐野式 | 4 | Eb-101 | 9 | 2 |
| 451 | [16.0] | 12.0 | 6.3 | 260.0 | 70 | 浅鉢形土器、平面楕円形、外反口縁で丸底、晩期初頭～前葉 | 4 | Ee-80 | 15 | 3 |
| 452 | | 18.8 | 21.1 | 1160.0 | 70 | 深鉢形土器、無文粗製、オサエ・ナデ仕上げ、隆帯文土器共伴、後期末葉～晩期前葉 | 4 | Em-7 | 30 | 7 |
| 453 | | 21.0 | 20.8 | 1190.0 | 70 | 深鉢形土器、外反口縁、口唇部B突起で裾切込、肩部に1段の裁痕、大洞C1式 | 4 | Eq-56 | 47 | 10 |
| 454 | | 6.2 | 8.5 | 120.0 | 100 | 壺形土器、外反口縁で平底、肩部沈線帯と突起、大洞C1式 | 4 | Mb-9 | 56 | 12 |
| 455 | | 13.2 | 12.7 | 380.0 | 90 | 浅鉢形土器、外反口縁で平底、肩部入組文と三叉文、安行3b式並行 | 4 | N1-9 | 74 | 18 |
| 456 | | 9.2 | 7.5 | 170.0 | 70 | 浅鉢形土器、外反口縁で丸底、口底面まで全面縄文、晩期前葉 | 4 | Me-13 | 61 | 15 |
| 457 | | 21.4 | 19.8 | 1080.0 | 70 | 深鉢形土器、無文粗製、内外面ケズリ・ナデ仕上げ、佐野式共伴 | 4 | Mh-13 | 65 | 16 |
| 458 | | 43.8 | 21.0 | 3040.0 | 70 | 浅鉢形土器、口唇肥厚、口唇全面縄文、晩期初頭～前葉 | 4 | Mh-3 | 65 | 16 |
| 459 | | 10.8 | 8.8 | 290.0 | 90 | 浅鉢形土器 外反縁丸底浅鉢 | 4 | Mh-7 | 65 | 16 |
| 460 | | 15.8 | 13.9 | 690.0 | 80 | 深鉢形土器 内湾口縁深鉢 | 4 | Mh-18 | 66 | 15 |
| 461 | | 10.5 | 11.5 | 270.0 | 100 | 壺形土器、外反口縁で尖底、肩部・体部に花卉状雲形文、佐野2式 | 4 | p-52 | 78 | 20 |
| 462 | | 21.8 | 27.9 | 1510.0 | 60 | 深鉢形土器、平縁隆帯文深鉢第5段階古相、晩期初頭 | 4 | Ei-45 | 25 | 6 |
| 463 | | 23.0 | (25.2) | 1190.0 | 50 | 深鉢形土器、入組文・三叉文系統だが第5段階平縁隆帯文深鉢の1条隆帯転写、晩期初頭 | 4 | Eq-27 | 45 | 10 |
| 464 | | 10.8 | 9.1 | 330.0 | 80 | 浅鉢形土器、丸底、無文、口縁に1対の貫通孔、晩期前葉 | 4 | N1-13 | 74 | 18 |
| 465 | | 30.0 | (28.2) | 2620.0 | 50 | 深鉢形土器、外反口縁、肩部にクランク変形のハンガー形構図、佐野2a式 | 4 | Md-29 | 59 | 13 |
| 466 | | 23.6 | (23.0) | 1940.0 | 60 | 深鉢形土器、外反口縁、肩部に粗大工字文、佐野2b式 | 4 | Md-40 | 59 | 15 |
| 467 | | 9.8 | 8.3 | 200.0 | 80 | 胴部単孔の壺形、外反口縁で丸底、羊歯状文浮彫、大洞BC並行 | 2 | Wb-20 | 13 | 14 |
| 468 | (9.8) | 8.8 | 4.2 | 130.0 | 70 | 仮称小部屋付楕円浅鉢、丸底、底面スベード状構図、佐野式 | 2 | D502-52 | 105 | 24 |
| 469 | (9.1) | (12.5) | 5.5 | 220.0 | 30 | 仮称小部屋付楕円浅鉢、口縁部入組三叉文、丸底、底面無文、佐野2式 | 4 | Md-53 | 60 | 14 |
| 470 | | [16.4] | 13.2 | 370.0 | 60 | 仮称小部屋付楕円浅鉢、高台付、口唇突起と三叉陰刻、口縁部花卉状雲形文、佐野2式 | 4 | Mi-47 | 68 | 16 |
| 471 | [17.0] | 13.2 | (5.1) | 200.0 | 50 | 仮称小部屋付楕円浅鉢、口縁部波状文、底面無文、佐野2式 | 4 | Me-68 | 63 | 15 |
| 472 | | 8.5 | 6.3 | 60.0 | - | 人面付で香炉形土器もしくは把手付土器、晩期前～中葉 | 4 | Eb-129 | 10 | 3 |
| 473 | | 7.2 | 6.0 | 30.0 | - | 人面付で香炉形土器もしくは把手付土器、晩期前～中葉 | 4 | p-44 | 78 | 20 |
| 474 | | [9.2] | [4.7] | 66.3 | 60 | 多孔底土器Ⅱ類、丸底浅鉢、後期中葉～晩期前葉 | 4 | Ek-37 | 30 | 7 |

(4) 石製品

11点

| 番号 | 量目 (cm・g) | | | | 遺存率 (%) | 品質形状等 | 報告番号 | | 報告書頁 | |
|-----|-----------|-------|-------|--------|---------|---|------|------|------|----|
| | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | | | 分冊 | No | 図版 | 写真 |
| 475 | (9.0) | (1.8) | (1.8) | 54.0 | 80 | 石棒、小形、有頭、頭部円形括れ有、緑色片岩、全面加工 | 4 | 1124 | 157 | 35 |
| 476 | 8.2 | 1.9 | 1.5 | 43.1 | 100 | 石棒、小形、有頭、頭部円形括れ有、緑色片岩、全面加工 | 4 | 1128 | 157 | 35 |
| 477 | (26.1) | 3.8 | 3.8 | 752.0 | 50 | 石棒、小形、有頭、頭部二段笠形、緑色片岩、全面加工 | 4 | 1130 | 157 | 35 |
| 478 | (13.1) | (2.9) | 2.3 | 134.6 | 30 | 石刀、身断面菱形、柄頭平面鬼頭状、緑色片岩、全面研磨 | 4 | 1212 | 160 | 37 |
| 479 | (12.1) | (3.1) | 2.3 | 119.5 | 30 | 石刀、身断面卵形、柄頭平面台形溝状切込み有、緑色片岩、全面研磨 | 4 | 1214 | 160 | 37 |
| 480 | 33.1 | 2.7 | 2.0 | 248.2 | 100 | 石刀、身断面卵形、柄頭平面長方形溝状切込み有、粘板岩、全面研磨 | 4 | 1215 | 160 | 37 |
| 481 | (19.7) | (4.0) | (1.7) | 182.6 | 50 | 石刀、身断面楔形、柄頭平面円形溝状切込み有、粘板岩、全面研磨 | 4 | 1213 | 160 | 37 |
| 482 | 39.8 | 3.3 | 1.6 | 364.9 | 100 | 石刀、身断面楔形、柄頭平面円形緑色片岩、部分研磨、2片接合 | 4 | 1216 | 160 | 37 |
| 483 | 9.1 | 8.8 | 5.4 | 4602.0 | 100 | 石冠、頭部山形、底部楕円形凹み有、頭部と基底部区別明瞭、両側面沈線切込み、砂岩 | 4 | 1249 | 163 | 37 |
| 484 | 6.0 | 15.0 | 5.7 | 337.8 | 100 | 石冠、頭部突出、底部長楕円形、頭部と基底部の区別明瞭 | 4 | 1250 | 163 | 37 |
| 485 | 9.0 | 7.0 | 4.7 | 354.0 | 100 | 石冠、頭部石斧形、頁岩、頭部と基底部が一体化 | 4 | 1251 | 163 | 37 |

[] 推定値

() 残存値

- 計測不可及び報告書未掲載

・土器、土製耳飾のうち、図と写真の掲載分冊が異なるものについては、図の掲載分冊を分冊欄に記載、写真掲載分冊は写真図版の欄に()で表記

エリ穴遺跡出土品





土製耳飾



土偶



石棒



土器

エリ穴遺跡位置図

